職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置調	認可年月	日 校	長名			所在地		
専門学校ルネサン	ス・ペッ						430-0943			
ト・アカデミ		平成2	1年3月25	日 円野	勘次郎		静岡県浜松市中区: 053-455-2550	北田町134-38		
設置者名		設立i	認可年月	日 代表	者名		430-0943	所在地		
学校法人 爽青	青会	平成2	0年3月20		事長 勘次郎	(住所)	静岡県浜松市中区:	北田町130-12		
分野		認定課程名		認定学科名			053-450-0820 士認定年度	高度専門士認定	至年度 職業室	実践専門課程認定年度
文化・教養		(文化・教	· 學(係)	動物看護師科			1(2019)年度			平成26(2014)年度
人儿 教養	41 JBX1±	. (入10 秋1	変 対 旅/	新加州 (英中1714)	0-4-10-1	17114	1 (2013) 千及			一
学科の目的	One Healt	thの理念のもる	と、動物の)命を守る事で、人/	々の命と社	会生活を守る	動物看護師を育成す	ける。		
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	取得可能的中途退学	資格:愛玩動物 者:6人(中退 ^國	勿看護師/ 率6.1%)	愛玩動物飼養管理士	:2級/ペッ	ト栄養管理士	/サービス接遇検定/	コミュニケーション	検定初級	
修業年限	昼夜	全課程の修了	了に必要な 単位	旅授業時数又は総 数	ii d	冓義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	※単位時間、単 かに記入	位いずれ	3,348 単位時間	1, 459	単位時間	① 単位時間 単位	1,889 単位時間 単位	① 単位時間 単位	間 ()単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	ミ員(A) 冒	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生	割合(B/A)				
120 人	106	٨.		0 人	0) %				
	■卒業者			26	•	구 -				
	■就職者			26 26		\				
	■地元就	職者数(F)		18		人				
	■就職率 ■就職者	: (E/D) に占める地元	就職者の	100 割合 (F/E)		%				
				69		%				
	■卒業者	に占める就職者	者の割合	(E/C) 100		%				
就職等の状況	■進学者			0		人				
35,23 (7 5 5 6 7 6	■その他									
	(令和	4 年月 職先、業界等		関する令和4年5月1	日時点の作	青報)				
	■ 土 な 別 (令和4年)		Ŧ							
	動物病院									
		EX 14 14 00 11 1	. > ***	tv. =35 / TT			Ann.			
		評価機関等が :、例えば以下に					無			
第三者による 学校評価							50p.	価結果を掲載した		
	i	評価団体:			受審年月:			一ムページURL		
当該学科の										
ホームページ URL	https://	www. rap. ac.	jp/cours	e/vn/						
	(Δ·甾4	立時間による算	. 定)							
	(A. #P	総授業時数	- AE. /							
		_							3 3/18 RR 14-m±	pg
			た企業生し	海堆した宝粉・宝砌	・ 宝 は の は	三 学 阵 粉			3,348 単位時	
		_		連携した実験・実習		受業時数			180 単位時	[f]
		ð i	ち企業等と	連携した演習の授業		受業時数			180 単位時	iii
		ð i	ち企業等と ち必修授業	連携した演習の授業 時数	時数		壮 の垣拳吐動		180 単位時 0 単位時 2,913 単位時	間間
		ð i	ち企業等と ち必修授業	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し	時数た必修の実	験・実習・実			180 単位時 0 単位時 2,913 単位時 500 単位時	間間
););	ち企業等と	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	時数 た必修の実 た必修の演	■験・実習・実 ■習の授業時数			180 単位時 0 単位時 2,913 単位時 500 単位時 0 単位時	間 間 間 間
企業等と連携した実際等の実施状況););	ち企業等と	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し	時数 た必修の実 た必修の演	■験・実習・実 ■習の授業時数			180 単位時 0 単位時 2,913 単位時 500 単位時	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(p. ×.	51 51	ち企業等とち必修授業	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	時数 た必修の実 た必修の演	■験・実習・実 ■習の授業時数			180 単位時 0 単位時 2,913 単位時 500 単位時 0 単位時	間 間 間 間
実習等の実施状況	(B:単位	う: う: ((()	ち企業等とち必修授業	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	時数 た必修の実 た必修の演	■験・実習・実 ■習の授業時数			180 単位時 0 単位時 2.913 単位時 500 単位時 320 単位時	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: 立数による算定 総授業時数	ち企業等とち必修授業	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインター	: 時数 た必修の実 た必修の演 ・ンシップの	・験・実習・実 習の授業時数 の授業時数)			180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 320 単位時	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: 位数による算定 総授業時数	ち企業等とち必修授業 うち企業等	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインター 連携した実験・実習	時数 た必修の実 た必修の演 ンシップの	・験・実習・実 習の授業時数 の授業時数)			180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: つ:	ち企業等とち必修授業 (連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業	時数 た必修の実 た必修の演 ンシップの	・験・実習・実 習の授業時数 の授業時数)			180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: つ:	ち企業等とち必修授業等となめ修授業等とも必修授業	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し を連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数	時数 た必修の実 た必修の実 たシップの	:験・実習・実習・実習の授業時数) 授業時数) 受業時数			180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: つ:	ち企業等とち必修授業等となる企業等とも企業等とも企業等ともの後授業	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した まと連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携した 適味を表する。	時数 た必修の実 た必修の演 ・ンシップの ・実技の持 時数	実際・実習・実 習の授業時数) 授業時数 要素時数	技の授業時数		180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 0 単位時 320 単位時 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: (・) (·) (ち企業等とち必修授業 () うち企業等というち企業等ととなる業等ととなる。	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し まと連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・実技の方	実際・実習・実 習の授業時数) 授業時数 受業時数 受業時数	技の授業時数		180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 0 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: (・) (·) (ち企業等とち必修授業 () うち企業等というち企業等ととなる業等ととなる。	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した を連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携した 連携した	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・実技の方	実際・実習・実 習の授業時数) 授業時数 受業時数 受業時数	技の授業時数		180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 0 単位時 320 単位時 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う: (・) (·) (ち企業等とち必修授業 () うち企業等というち企業等ととなる業等ととなる。	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し まと連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・実技の方	実習・実習・実習の授業時数) 授業時数) 受業時数 受業時数 受業時数	技の授業時数		180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 0 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	う: う	ち企業等とも必修授業等となる企業等となる。	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し まと連携した大ター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 等ら企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し ちと連携したインター	時数 た必修の実 た必修の演 ・実技の打 に時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演	験・実習・実 習の授業時数) 授業時数 ・実習・実 習の授業時数 か授業時数)	技の授業時数		180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 0 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: (・)	ち 企業等と 業等 と な 修 授 業等 と を か か な 企業等 と と か か な 企業等 を と 実	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し を選携したインター	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まなの修の演 ・ない。 ・まなのを ・ない。 ・ない	実習・実習・実 選 の授業時数	技の授業時数	第1号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: (・)	ち企業等と ち必必修授業 うち企業等 うち企業等 とな企業等 となる。 のるを のるを のる を のる を のる を の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し をと連携したインター	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	実習・実習・実 選 の授業時数	技の授業時数	第1号)	180 単位時 2.913 単位時 500 単位時 0 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: (・) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ち企業等と ち必必修授業 うち企業等 うち企業等 とな企業等 となる。 のるを のるを のる を のる を のる を の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し を選携したインター	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	実習・実習・実 選 の授業時数	技の授業時数	第1号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: (・) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ち 企業等と と 業等 と と 業等 を から から な 企業 等等 と と 業等 を 発 課等当者 と と ま は は な と る な の る 年 と と る と と る と と き と き と き ま に から ち から な に から ち から	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携した、 な業等と連携した、 ないまする。	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	技の授業時数		180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: う: で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・ で・	ち企業等とと 業等 を と 業 業 等 を と と から ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 きと連携したインター	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	 「 は な は な は な に ま を は な に ま を は な に を も な が は を を を は を を を を を を を を を を を を を	技の授業時数 対数置基準第41条第1項	第2号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を企業等と を企業等と を必修を 一学等と を必修を 一学等と をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを のるを をなるを のるを をなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを の	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: ると連携したインター と連携したインター を関係したインター を関係したインター を関係したがある。 を関係したが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をし	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	接 · 実習 · 実	技の授業時数 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項	第2号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: う: う: (・) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を企業等と を企業等と を必修を 一学等と を必修を 一学等と をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを のるを をなるを のるを をなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを の	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: ると連携したインター と連携したインター を関係したインター を関係したインター を関係したがある。 を関係したが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をし	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	以	技の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 3 人 0 人	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: う: う: (・) でで開課程の年以上 ② 常等士の学 ③ 高等士の学 ⑤ その他	を企業等と を企業等と を必修を 一学等と を必修を 一学等と をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを のるを をなるを のるを をなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを の	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: ると連携したインター と連携したインター を関係したインター を関係したインター を関係したがある。 を関係したが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をし	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	以	技の授業時数	第2号) 第3号) 第4号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 3 人 0 人 1 人	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: う: う: (・) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を企業等と を企業等と を必修を 一学等と を必修を 一学等と をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを のるを をなるを のるを をなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを の	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: ると連携したインター と連携したインター を関係したインター を関係したインター を関係したがある。 を関係したが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をし	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	以	技の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 3 人 0 人	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: う: う: (・) でで理解を対して、 でで関係のは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 で	を企業等と を企業等と を必修を 一学等と を必修を 一学等と をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを をなるを のるを をなるを のるを をなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを をもなるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを のるを の	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: と連携したインター 連携した実験・実習 連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: うち企業等と連携し: ると連携したインター と連携したインター を関係したインター を関係したインター を関係したがある。 を関係したが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をしが、 をし	時数 た必修の実 た必修の演 た必修の演 ・実技の打 ・実技の打 ・まながらで に当該にい ・ので に当該にい ・ので	以	技の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 3 人 0 人 1 人	間 間 間 間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) 教員の属性(中枢記 を教員について記	(B:単位	立数による算定 総授業時数 う: う: う: う: (・) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 企業等と 業等と 業等 と 業等と 登 等等 と 業 等 と 変 を から う の る 年と 位 教 位 又 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち	連携した演習の授業 時数 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携した 連携した実験・実習 連携した実験のうち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うち企業等と連携し、 うちを全まり、 をであったものが、 をであったものが、 のおきなが、 のまながが、 のまなががが、 のまながが、 のまながが、 のまなががが、 のまながががががががががががががががががががががががががががががががががががが	時数 た必修のの表演 た必必修ののプロ たかシップロ ・時数 たかシップロ ・時数 たかシップロ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実際・実習・実 変換	技の授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	180 単位時 2,913 単位時 500 単位時 320 単位時 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 3 人 0 人 1 人	間 間 間 間

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っている こと。」関係
- (1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。 ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。 ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。
- (2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の 運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を 経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野一勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中野良太	学校法人爽青会 副理事長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
山田 愛有貴	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
下司 睦子	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
鈴木 博昭	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 事務局	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
坂本 大輔	日本小動物医療センター 動物看護師長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
杉井 耕太	日本動物看護職協会 理事	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	1
岡本 智世枝	浜松どうぶつ医療センター 人事部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
- - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は7月および2月の年2回開催とする。

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月28日 13:30-15:00

第2回 令和5年2月22日 14:00-15:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物看護総合実習(インターンシップ)で動物病院に依頼する評価表について、国から示された学ぶ内容の羅列だけでは評価しにくいとの意見があ り、動物病院にて行って欲しい内容をより具体化した評価表に作り替えた。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床現場で必要とされる看護技術および症例検討を重視した授業を実施するため、現役獣医師や動物看護師を派遣していただける企業を選定している。また、期末には試験を実施して、評価までを依頼している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

2・3年生の授業を中心に、4月から1月にかけて27回の授業を実施。講義や実習を通して、現在の臨床現場で必要な知識・技術を現役獣医師・動物看 護師から学ぶ。授業理解度、積極性、筆記試験や実技試験による習得度を確認の上、評価をお願いしている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
 動物臨床看護学各論 	内科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解出来る。	片浜どうぶつ病院
動物外科看護学	外科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解出来る。	日本動物高度医療センター 名古屋病院
動物内科看護学実習	臨床検査の手順や検査結果を理解し、検査が実践出来る。	アサギ動物病院
動物病理学	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与する動物看護方法を理解できる	だて動物病院
	獣医療現場で使用される主な薬剤の特性、作用機序、有害作用を理解し、 薬剤を正しく取り扱うことが出来る。	マスダ動物クリニック

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために 学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの 教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合 でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本臨床獣医学フォーラム2022年次大会 連携企業等: 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム

期間: 令和4年9月22日(木)~令和4年12月9日(金) 対象: 動物看護師科教務5名

由策 最新の獣医療に関する知見を各獣医師、製薬会社、医療機器メーカーより学ぶ。同時に海外からの演者によるセミナーにて獣医療の

内谷 今後の動向を確認する。 ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害の学生への支援 連携企業等: 静岡大学 金子泰之先生

期間: 令和4年8月1日(月) 対象: 動物看護師科教務5名

内容 様々な学生への支援方法を学び、より良い学生支援の実践に繋げる。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本臨床獣医学フォーラム2022年次大会 連携企業等: 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム

期間: 令和5年9月23日(土)~令和5年9月24日(日) 対象: 動物看護師科教務5名

内容
最新の獣医療に関する知見を各獣医師、製薬会社、医療機器メーカーより学ぶ。同時に海外からの演者によるセミナーにて獣医療の

内谷 今後の動向を確認する。

②指導力の修得・向上のための研修等 研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和5年8月2日(水) 対象: 動物看護師科教務2名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育 内容 財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受け

ることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当 たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価 し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー における教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

- (3) 学校関係者評価結果の活用状況
- 卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
 → 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(https://www.rad.ac.jp/souseikai/img/report_rap2022.pdf URL:

公表時期: 令和5年5月12日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供している こと。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を 分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

עבו בויאיי מיאבאו וויס ייסטרואו בויאיי	, 0011
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	-
(11) その他	_

※ (10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他(説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

随時 公表時期:

授業科目等の概要

	授業科目等の概要 (文化・教養関係) 動物看護師科3年制)															
	(导	分類	程()	文化・教養関係	k) 動物有護師科3年制)				技	2業2	方法	場	所			
						配当	授	単			実験					企 業
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	年次	業	位	講	演	実	校	校	専	兼	等と
	修	必修	選択			学	時	数	義	習	習・	内	外	任	任	の連
			, ,			期	数			_	実技		,			携
1	0			生命倫理・動 物福祉	生命倫理の考え方及び動物福祉の概要を学び、愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物の福祉を考えられる。	1 · 通	30		0			0			0	
2	0			動物形態機能 学 I	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学の 面から学び、生命体としての動物を細胞、組 織、臓器レベルの各階層で理解するととも に、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	վ '	60		0			0		0		
3	0			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、 問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1 · 通	30		0			0			0	
4	0			動物栄養学 I	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージごとの食事の違いを学び、解説する事が出来る。	1. 通	30		0			0		0		
5	0			動物看護関連法規	愛玩動物看護師法や獣医師法等、動物看護に 関連する基本的な法規について学び、社会に おける愛玩動物看護師の役割を理解する事が 出来る。		30		0			0			0	
6	0			動物愛護・適 正飼養関連法 規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法 規について学び、人と動物の共生のあり方等 を理解する。		30		0			0			0	
7	0			動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理に ついて学び、専門職としての社会的責務 を理 解し職業意識を形成する。	1	30		0			0			0	
8	0			動物感染症学 I	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、感染 防御に関わる基礎について理解する。		36		0			0		0		
9	0			公衆衛生学I	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防と動物がどのように関わっているか理解する。		30		0			0			0	
10	0			動物内科看護 学 I	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血に必要な検査、所見の記録等について理解する。		30		0			0			0	
11	0			動物臨床検査 学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について 学び、検体や測定機器の正しい扱い方に つい て理解する。		30				0	0		0		
12	0			愛玩動物学	愛玩動物や使役動物の歴史、品種、役割、適切な飼養管理方法を理解する。	1 ·	60		0			0		0		
13	0			人と動物の関 係学 I	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。	1	12		0				0		0	
14	0			動物形態機能 学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器 模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。	前	24				0	0		0		
15	0			動物内科看護 学実習 I	で学んだ知識の実践力を習得する。	通	90				0	0		0	0	0
16	0			動物臨床検査 学実習	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、 動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を 習得 する。	通	90				0	0		0		
17	0			動物愛護・適 正飼養実習 A	動物のトレーニング実習を通じて、飼養管理 に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュ ニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連 した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	1:	22				0	0		0		
18	0			動物愛護・適 正飼養実習B		1:	68				0	0			0	
19	0			動物愛護・適 正飼養実習 C		11	26				0	0		0		
20	0			動物看護総合実習	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施 設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主と のコミュニケーション、愛玩動物看護師とし ての役割や責任について理解し、実務能力を 修得する。		60				0		0	0		0
21	0			動物医療コミュニケー ション I	社会人としての常識を身に付けるとともに、 サービス接遇検定を取得する。	1	60		0			0			0	
22	0			一般教養	高校までに学習する生物基礎、計算、語彙力 を確認し、専門学習を行う基盤とする。	通	42		0			0		0		
23	0			コンピュータ 実習	Word、Excel、PowerPointの使い方を理解し、 実践的に使用出来る。	1 · 前	24				0	0		0		
24	0			就職実務 I	動物看護総合実習に望む学生として、安全に 配慮した基礎的な動物看護を実践できると共 に、一般教養としての履歴書の作成、電話応 対が出来る。		18		0			0		0		
25	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化が できる。	通	30		0			0		0		
26	0			ルネサンス・ メソド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間カ向上」を図る。	通	30		0			0		0		
27	0			挨拶I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。	通	30				0	0		0		
28	0			清掃I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。	通	30				0	0		0		
29	0			動物関連施設 実習	動物関連施設における実習を通し、動物関連 の様々な職種を理解できる。	1 特別					0		0	0		

30	0	動物学工		動物の生命維持の仕組みを機能学、生化学の 面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するととも に、病的変化について学ぶ基盤を確立する。		60	0		0			0	
31	0	動物	勿繁殖学	繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩 と新生児管理、遺伝学の基礎知識を習得す る。	2 · 通	30	0		0		0		
32	0	比車	校動物学 Ⅰ	飼養動物や野生動物の概要を理解するととも に、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実 験動物の品程や飼養管理法、動物実験との関 わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園 などの展示動物の個体・群管理について学 ぶ。	. 通	60	0		0		0	0	
33	0	動物	勿病理学 I	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学 び、病態について理解する。	2 · 後	18	0		0			0	0
34	0	動物	勿薬理学 I	代表的な薬物の動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や 治療にどのように用いられるかを理解する。	2 · 後	36	0		0			0	0
35	0	動物Ⅱ	物感染症学	微生物の分類、生物学的特性、伝播様式や発 病のメカニズムについて学び、検査や診断、 衛生管理、予防・治療法など感染防御に関わ る基礎について理解する。	4	36	0		0		0		
36	0	公务	♥衛生学Ⅱ	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症の概要を理解し、人と動物の健康の維持・増進 や疾病予防への応用について理解する。	2 · 通	30	0		0		0		
37	0	動物学工	物内科看護 I	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、心 電図、X線検査、超音波検査、眼科検査に必要 な検査、所見の記録等について理解する。	2 · 通	60	0		0		0		
38	0	動物学	物外科看護	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術 前準備から術中補助、術後管理までの周術期 の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施 に必要な知識を習得する。	2 · 通	60	0		0			0	0
39	0	動物学彩	勿臨床看護 総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例 ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本 的な考え方を習得する。	2 · 通	30	0		0			0	
40	0		物臨床看護 各論 I	様々な疾患の病態生理を理解し、それによっ て引き起こされる症状や必要な処置、治療に 関する基本的な知識を学ぶ。	2 · 通	90	0		0			0	0
41	0	3 :	物 医 療 コ ュ ニ ケ ー ョン Ⅱ A	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。	2 · 通	30	0		0			0	
42	0	人 と 係当	上動物の関 学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心を高める。	2 · 通	18	0			0		0	
43	0	動物学	勿生活環境	動物の行動様式を理解した上で、ペットツー リズム関連施設、保護収容施設、ペットの事 故や怪我などのリスク除去軽減や飼育マナー について学び、人とペットとの共生のための 生活環境の在り方を理解する。	-	30	0		0		0		
44	0	動物学家	勿形態機能 実習	動物の内臓器官の配置や組織像に見られる代 表的な構造に関し、機能と関係について理解 する。		12		0	0		0		
45	0	動物学多	物内科看護 実習 Ⅱ	生体検査における必要な手技など、動物内科 看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	2 · 通	90		0	0		0	0	0
46	0	動物学多	物外科看護 実習 Ⅰ	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔 監視、手術の補助など、動物の外科学で学ん だ知識の実践力を習得する。	2 · 後	54		0	0		0	0	
47	0		勿愛護・適 同養実習A	動物のトレーニング実習を通じて、飼養管理 に関する基本的な取扱いや問題行動の解決法 など、愛護・適正阿養学に関連した科目で学 んだ知識の実践力を習得する。	2 · 通	56		0	0			0	
48	0		勿愛護・適 同養実習B	トリミング実習を通じて、飼養管理に関する 基本的な取扱いや日常のケア方法など、愛 護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識 の実践力を習得する。	1 :	44		0	0			0	
49	0		勿愛護・適 同養実習C	動物の飼育を通じて、飼養管理に関する基本 的な取扱いや動物の世話の後輩への指導を通 して、愛護・適正飼養学に関連した科目で学 んだ知識の実践力を習得する。		10		0	0		0		
50	0	動物実習	勿看護総合 肾Ⅱ	受付業務、院内コミュニケーション、診療補助等の臨床経験から、専門職としての知識を活かして技術を実践できる。		60		0		0	0		0
51	0	保足	定実習 I	犬猫の処置や検査に適した保定が実践できる。	2 · 前	30		0	0		0		
52	0	海タ	卜授業	海外の動物病院、動物保護施設の見学を通して、日本流ペットケア・動物看護を考える事ができる。	2 特別	30		0		0	0		
53	0	就聯	哉実務Ⅱ	就職活動に必要な情報収集、履歴書の作成方 法やメールスキル等を身に付け、就職活動に 備える事ができる。		12	0		0		0		
54	0	- 3 :	物 医 療 コ ュ ニ ケ ー ョン II B	社会人として常識を身につけると共に、コミュニティ検定資格を取得する。	2 · 通	30	0		0			0	
55	0	LHR		社会人に必要な協調性を学びクラス活動に活かすことができる。スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。		30	0		0		0		
56	0	挨找	———— 罗 II	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。	2 · 通	30		0	0		0		
57	0	清排	ĦΙ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。	2	30		0	0		0		
58	0	看證	蒦学特論Ⅲ	1・2年生にて学んだ知識・技術を学び直し、 臨床の現場で活かすことができる。	3 · 通	69	0		0		0		
59	0	動物皿	勿看護実務	飼主の心をつかむPOP制作を学び、動物病院と 飼い主のコミュニケーションツールを身に付 ける事が出来る。	3 · 後	46	0		0			0	
60	0	ペッ業相	ット関連産 既論	ペット関連産業を構成する業種の概要、動物 取扱業における動物取扱責任者としての知識 を理解・解説出来る。		12	0		0		0		
													_

													_	
61		0		【選択2】 総合動物実習 行動学	(選択)1年次、2年次の基礎を発展させ、動物 看護師が動物病院で必要となる動物の行動学 を習得する事が出来る。	3 · · 通	(92)	0		0			0	
62	0			動 物 環 境 フィールド ワーク	学内では学ぶ事ができない大動物、野生動物、産業動物の現状を知り、動物看護師が出来る事を自ら模索する事が出来る。	b 3	62		0		0	0		
63	0			動物看護実習皿	1年次、2年次で習得した看護知識・技術を反復練習によって向上させる事が出来る。	3 · 通	90		0	0		0	0	
64		0		グルーミング 実習Ⅲ	(選択) シャンプー仕上げの技術を発展させ、 病状に合わせたグルーミングを身に付ける事 が出来る。	3 · 通	44		0	0		0	0	
65		0		【選択1】総 合動物実習 グルーミング	(選択) AAVサロントリマー検定の資格を取得する事が出来る。	- 3 · 通	161		0	0			0	
66		0		【選択2-1】 総合動物実習 ドッグトレー ニング	(選択)SAE家庭犬訓練士資格を取得する事が出来る。	3 · 通	(69)		0	0			0	
67		0		【選択2-2】 総合動物実習 応用看護実習	(選択)専門分野企業への就職に備えて、分野毎の特殊な看護技術を習得する事が出来る。	3 · 通	(69)		0	0		0	0	
68	0			ドッグトレー ニング実習Ⅲ	犬の行動原理を学び、緊急時の犬の反応にも 対応する事が出来る。	。 · · 通	46		0	0		0		
69	0			保定実習Ⅲ	犬、猫に加えてエキゾチックアニマルの保定 方法を身に付け、実践する事が出来る。	3 · 通	23		0	0		0		
70	0			動物看護総合 実習Ⅲ	臨床の現場において、動物看護師の立ち位置、重要性、働き方を学び、就職後の自分の 目標を見つける事が出来る。	ž 3) · 後	200		0		0	0		0
71	0			飼育技術	飼育動物の行動から飼育方法や器具・機材、 食事を選択し適正に飼養できるようになる。	3 · 前	22		0	0		0		
72	0			海外授業	海外の動物病院、動物保護施設の見学を通して、日本流ペットケア・動物看護を考える事ができる。				0		0	0		
73	0			実務実習	各就職先に合わせた知識・技術を向上し、 戦力となる人材になる。	3 · 後	120		0	0		0		
74	0			社会学・経営 学・ リーダー論	数年間勤務した想定の上で、後輩指導時に活かす後輩との接し方、人がついてくる話したを学び、長期勤務を見据える事が出来る。		46	0		0			0	
75	0			心理学	人の心理学を学ぶ事で、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、勤務しやすい企業 環境を作る事が出来る。	. 3 · 後	24	0		0			0	
76	0			院内コミュニ ケーションⅢ A	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。	3 · 通	23		0	0		0		
77	0			院内環境整備 Ⅲ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。		23		0	0		0		
78	0			クライアント エ デ ュ ケ ー ションⅢ	飼い主指導に必要な知識の研鑽に努め、国家 資格受玩動物看護師を取得する事が出来る。	3 · 通	23	0		0		0		
79	0			卒業研究	自分の従事する職業(職場)に必要な知識・ 技術の向上の為、個々のテーマに沿った発表 を行う。		22		0	0		0		
80	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化か できる。	3 。	23	0		0		0		
			合計		80科目		科目		3348		単	位	(単化	1時間)

卒業要件及び履修方法	授業期間	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

⁽留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		該	と置認可年月	日	交長名		100.0010	所在地			
専門学校ルネサン ト・アカデ		平	成21年3月25	5日 中野	勘次郎	(住所)	430-0943 静岡県浜松市中区: 053-455-2550	北田町134-38			
設置者名		認	达認可年月	日 代	表者名			所在地			
学校法人 爽	青会	平	成20年3月20		事長		430-0943 静岡県浜松市中区:	北田町130-12			
	I	認定課程		中国	勘次郎	(電話)	053-450-0820 計士認定年度		中午中	脚类中母:	専門課程認定年度
文化・教養	市門神経		教養関係)	認定学科 ペットエステ・ト	・リミング科		1(2019)年度	高度専門士認	正平贤		9门課性認定年度 3(2021)年度
文化・教養	守门林包	E (X1L ·	双食 関係/	3年制		T) fli	1(2019) 平及	_		TI flu	3(2021) 平及
学科の目的	愛犬に最	適なスタイ	ルを提案でき	きる幅広いカットス:	タイルを身につ	つけた、ペッ	ルトスタイリストを育	「成する。			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格: サー 者: 0人(中		₹3級/愛玩動物飼養	管理士2級						
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要な 位数	総授業時数又は総単 対	講	義	演習	実習	3	ミ験	実技
3	昼間	※単位時間	、単位いずれか	3, 179 単位時間	326	単位時間	0 単位時間	2,853 単位時間	() 単位時間	0 単位時間
年		に記入	1	単位		単位	単位	単位		単位	単位
生徒総定員	生徒美	建員(A)	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生割	合 (B/A)					
35 人	11	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		0 人	0	%					
3077	■卒業者			0		"					
		望者数(D)	0		人					
	■就職者 ■地元就	剱(E) :職者数(F)	0		숫					
	■就職率	(E/D)		0		%					
	■就職者	に占める地	也元就職者の	割合 (F/E) 0		%					
	■卒業者	に占める勍	間職者の割合	(E/C)							
	■進学者	- Жи		0		人					
就職等の状況	■進子日			0		^					
	(令和 ■主な就 (令和4年)	職先、業		関する令和4年5月1	日時点の情報)						
m			等から第三ね は下について任				無				
第三者による 学校評価							評	価結果を掲載した			
		評価団体:			受審年月:		т т	一ムページURL			
当該学科の		,		. //							
ホームページ URL	nicips.//	www.rap.	ac.jp/cours	ie/pg/							
	(A:単f	立時間によ	る算定)								
	```	総授業時数							3. 17	9 単位時間	
		10221111		:連携した実験・実習	・実技の授業					0 単位時間	
				:連携した演習の授業		-130				0 単位時間	
			うち必修授業		: PT 30.					9 単位時間	
				うち企業等と連携し	ナツ枚の中段	# 22 # ++	- A +17 4th n.t. +16				
							(0)授耒吋致			0 単位時間	
			/ T t A Alle 64	うち企業等と連携し						0 単位時間	
企業等と連携した			(うち企業等	『と連携したインター	ンンップの授	未時奴)			40	0 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	l	· _ · _ ·	<b></b>								
に記入)	\B: 単f	立数による								W (:	
		総授業時数		N=14-1	m/+ - :	n+ 104				単位	
				連携した実験・実習		可奴				単位	
				:連携した演習の授業	時数					単位	
			うち必修授業							単位	
				うち企業等と連携し			の授業時数			単位	
				うち企業等と連携し	た必修の演習	の授業時数				単位	
			(うち企業等	と連携したインター	ンシップの授	業時数)				単位	
		の担当する	る教育等に従事	呈を修了した後、学校 ほした者であって、当 送事した期間とを通算	6該専門課程の	(南族学	交設置基準第41条第1項	第1号)		1人	
		② 学士の	の学位を有する	5.者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第2号)		2 人	
***											
教員の属性(専任 教員について記			学校教諭等経5				校設置基準第41条第1項			0 人	
入)		4 修士	の学位又は専門	1職学位		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第4号)		0 A	
		⑤ その他	the state of the s			(専修学	校設置基準第41条第1項	(第5号)		1 人	
		計								4 人	
		上記①~( 実務の能力	5のうち、実績 力を有する者を	務家教員(分野におけ と想定)の数	†るおおむね5	年以上の実績	<b>多の経験を有し、かつ</b>	、高度の	:	2 人	

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を 行っていること。」関係
- (1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。) における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。 ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

#### (3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中野・良太	学校法人爽青会 副理事長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
鈴木 博昭	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 事務局	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
伊藤 雪野	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
村木 美里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤野 愛美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
飯田 惇一	動物医療センターもりやま犬と猫の病院 副院長/獣医師	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
古和 香菜恵	株式会社カラーズ GREEN DOG 枚方 店長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月22日 14:00-15:30

第2回 令和5年2月24日 10:00-11:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①トリマーを目指す学生が学ぶべき皮膚病に関する知識レベルを確認し、犬猫健康管理学の授業で皮膚疾患の症状についての内容を追加。 (アイ) 、 できては、チェル・デストンと及信所に関する知識レールを確認し、大温度像管理学の反案で及信状心の症状についての内容を追加。 また薬品メーカーによる、薬用シャンプーに関する特別セミナーを実施。 ②それぞれの病院・店舗で使っているカウンセリングシートを参考に、ルネサンス独自のカウンセリングシートを作成し、実習時の受付対
- 応にて飼い主様の要望や悩みを聞き出す実践を行った。

#### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

#### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

トリマーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、元キャビンアテンダント等 高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果 の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

#### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、週1日90分間の授業を27回実施。トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーションカ・接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Γ	科目名	科 目 概 要	連携企業等
	接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身 に付け、サービス接遇検定に合格する。	浜松ビジネススクール
	接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイング を交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール
	接客技術Ⅲ	ビジネス実務マナー検定、サービス接遇検定2級取得を目指し、実践で使用できる様になる。	浜松ビジネススクール

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

#### (2) 研修等の実績

## ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 犬に優しいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

期間: 令和4年7月4日(月) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務3名

内容 犬の扱い方、犬に優しいトリミング技術について学ぶ

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害の学生への支援 連携企業等: 静岡大学 金子泰之先生

期間: 令和4年8月1日(月) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務3名

内容 様々な学生への支援方法を学び、よりよい学生支援の実践に繋げる

## (3)研修等の計画

内容

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: かわいいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

期間: 令和5年6月22日 対象: ペットエステ・トリミング科 教務3名

内容グルーミングでのワンちゃんのかわいい顔バランスの考え方、ポメラニアンのかわいいカットについて

### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和5年8月7日(月)・8日(火) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャ リア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教

員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を 行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線 で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

^{※(10)}及び(11)については任意記載。

#### (3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホーム ページ内「卒業生ページ」に設置、就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

#### (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

[※]委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

広報誌等の刊行物・ その他( (ホームページ)・

https://www.rad.ac.jp/souseikai/img/report_rap2022.pdf URL:

公表時期: 令和5年5月12日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供 していること。」関係
- (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生 指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情 報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	型に関うものトーラーン。の項目との内心
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2)各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	_
(11) その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ な報誌等の刊行物 → その他 (説明会での説明) ) URL:

https://www.rap.ac.jp/about/information/

随時 公表時期:

## 授業科目等の概要

	(専	門課	程(	文化・教養関	系) ペットエステ・トリミング科3年制)											
		分類				配	授		授	業ス	5法 実	場	所	教	員	企
	必	選	自			当年	業	単	講	演	験・	校	校	専	兼	業等
		択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次・当	時	位			実習					ک ص
	修	修	択			学期	数	数	義	習	実技	内	外	任	任	携
1	0			人と動物の関 係学 I	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動 物飼養管理士2級に合格する。	1 通	54		0			0			0	
3	0			グルーミング 研究 I	グルーミングに関するテーマを設定し、自身 で探究したものをプレゼンできる。	1 後	16				0	0		0		
4	0			犬猫の健康管 理学 I	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解 剖を学び、健康チェックを行う事が出来る。	1 · 前	22		0			0		0		
5	0			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1· 前	11		0			0		0		
6	0			動物関連施設実習	動物関連施設の視察研修を行い業界の広がり を知り、将来のきっかけをつくる。	1 特別	30				0		0	0		
7	0			動物飼育実習	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレッ ト・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1 通	54				0	0		0		
8	0			グルーミング 実習 I	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1 通	585				0	0			0	
9	0			動物看護実習 I	動物病院で行われている、健康診断、保定、 消毒方法、検査を身に付ける。	1 . 後	32				0	0		0		
10	0			ドッグトレー ニング実習 I	大への基本的なしつけを行いながら、その方 法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身 に付ける。		22				0	0		0		
11	0			トリマー接客 技術 I	社会人としての基礎的なマナー、コミュニ ケーションを身に付け、サービス接遇検定に 合格する。	1 通	54		0			0			0	0
12	0			コンピュータ 実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1 · 前	22				0	0		0		
13	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化が できる。	1 · 後	16		0			0		0		
14	0			清掃 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。		27				0	0		0		
15	0			挨拶I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。		27				0	0		0		
16	0			就職実務I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履 歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活 動を開始できる。	1 後	16		0			0		0		
17	0			ルネサンス・ メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門 知識・技術と両輪となる学生の「人間力向 上」を図る。	1 · 通	20		0			0		0		
18	0			人と動物の関 係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 · 通	6		0				0		0	
19	0			ペットショッ プ実務	業界動向を知り、ペットショップでの販売や 売り上げなど、実践的な実務を理解すること ができる。		11		0			0		0		
20	0			グルーミング 理論 II	犬種の特徴を基にしたグルーミングを考えることができ、飼い主様へ分かりやすく説明できる。	2 · 前	10		0			0		0		
21	0			動物行動学	グルーミング時に起こる犬の行動を理論的に 理解し、その対処が実践でき、飼い主様へ説 明できる。	2 · 通	21		0			0		0		
22	0			犬猫の健康管 理学 II	犬猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について学び、正しいブリーディングを説明できる。	2 · 後	22		0			0		0		
23	0			トリミング実 習	カットスタイルを学び、実際の飼い主様の要望を聞き、一般モデル犬にトリミングを実践できる。		472				0	0		0		
24	0			ペットエステ 実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を 取得に向けて、学校犬または自宅犬への施術 できる。	2 · 後	33				0	0		0		

_													
25	0		動物看護実習Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、 電話対応、健康診断を身に付け実践できる。	2 · 前	20		0	0		0		
26	0		ドッグトレー ニング実習 II	犬の行動から、精神面を推測し、一般的な対 処方法を学ぶと共にトリミングでも応用でき る。	2 . 後	22		0	0		0		
27	0		動物飼育実習	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレッ ト・うさぎ・インコ)をとおして飼育方法を説明できる。	2 · 前	10		0	0		0		
28	0		クリップ研究	ケネルクリップ、ペットクリップの研究を し、なぜそのカットにするのかをお客様へ伝 える事が出来る。	2 · 前	20	0		0		0		
29	0		海外授業	その土地の文化や最先端に触れ、トリミング のあり方や将来を考えることが出来る。	2 後	30		0		0	0	0	
30	0		インターン シップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。	2 · 前	200		0		0	0		0
31	0		トリマー接客 技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、検定に合格する。	2 · 通	21	0		0			0	0
32	0		清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。	2 · 通	21		0	0		0		
33	0		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。		21		0	0		0		
34	0		LHR II	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化か できる。		21	0		0		0		
35	0		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内 定獲得につなげる。	2 · 前	10	0		0		0		
36	0		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。	2 · 後	120		0	0		0		
37	0		グルーミング 理論Ⅲ	就職後の新人トリマーとしての必要業務である電話や電子カルテを学び、実行できる。	3 · 通	21	0		0		0		
38	0		経営学	店舗経営者の考え方や発想を学び、将来トリマーとして広い視点を持った人材になる。	3 · 前	20	0		0			0	
39	0		模擬サロン計画	模擬サロン実習から反省を出し、次回へ活か すべく計画する能力を身に着ける。	3 · 後	22	0		0		0		
40	0		卒業研究	トリマーに必要なテーマを設定し、通常より 研究を掘り下げ、一般人にも分かりやすくブ レゼン発表出来る。	3 · 後	22		0	0		0		
41	0		動物看護実習 Ⅲ	トリミング中に発生する動物の病気、怪我等へ適切に対処し、飼い主様にも説明ができる。		22		0	0		0		
42	0		ペットエステ 実習	ペットエステの効果を理解し、ハーブパック などの高度なエステなどを反復して施術し、 一般飼い主様に提供できる。	3 · 前	20		0	0		0		
43	0		トリミング実 習Ⅲ	模擬サロン実習、デザインカット実習等、これまでのトリミング技術を応用できる。	3 · 通	473		0	0			0	
44	0		ドッグトレー ニング実習Ⅲ	実際のトリミングで発生する犬の嫌がる行動などを分析し、対処を方法を学び活かすことができる。	3 · 通	21		0	0		0		
45	0		動物飼育実習皿	飼育実習のグループリーダーとなり、小動物 のお世話を後輩または飼い主様にアドバイス できる。	3 前	10		0	0		0		
46	0		インターン シップ	希望職種へのインターン実習を通してプロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にさせる。	3 · 前	200		0		0	0		0
47	0		海外授業	海外におけるトリミングの在り方を学び、日本流トリミングの在り方や将来を考える事が 出来る。	3 . 後	30		0		0	0		
48	0		清掃皿	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。		21		0	0		0		
49	0		挨拶Ⅲ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。		21		0	0		0		
50	0		トリマー接客 技術Ⅲ	コミュニケーション検定、サービス接遇検定2 級取得を目指し、実践で使用できる様になる。		21	0		0			0	0
51	0		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化が できる。	3 . 後	11	0		0		0		
_					-		 _			_	_	_	

52	0		就職実務Ⅲ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別 調査や具体的準備な面接対策などを実施し内 定獲得につなげる。		10	0		0		0		
53	0			動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。		120		0	0		0		
		슴計	ŀ	53	Ŧ	4目		3179		単	位(	単化	1時間)

卒業要件及び	授業期間等				
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべ	C以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法: 必修/選択必修科目を対面または	オンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31		

- (留意事項)
  1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

### 職業実践専門課程等の基本情報について

<u>学校名</u> 専門学校ルネサン		設置	認可年月日	3   校	長名			所在地		
			1年3月25		勘次郎		130-0943 静岡県浜松市中区:			
ト・アカデミ	-		認可年月日		表者名		053-455-2550	所在地		
学校法人 爽青	<u> </u>		0年3月20		事長		130-0943 終岡県近松本山区			
			.043月20	中野	勘次郎	(電話)	静岡県浜松市中区: 053-450-0820			
分野		認定課程名	¥ 88 /5 \	認定学科 ペットエステ・ト	_		士認定年度	高度専門士認定		専門課程認定年度
文化・教養	<b>専門課程</b>	(文化・教	医関係)	2年制		平成2	7(2015)年度		平以	(26 (2014) 年度
	飼い主様の	)要望を正確に	こ表現でき	るトリミング技術を	持ち、犬との	共存社会に	笑顔を提供できるド	ッグトリマーを育成	する。	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	中途退学者	f:5人(中退率	<b>뚇11.3%</b> )		ス/サービス	接遇検定3級	/愛玩動物飼養管理:	±2級/コミュニケーシ	・ョン検定初級	
修業年限	昼夜	全課程の修了	だ必要な終 位数	総授業時数又は総単	講	養	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位 に記入	位いずれか	2,114 単位時間 単位		単位時間単位	① 単位時間 単位	1,850 単位時間 単位	O 単位時間 単位	① 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実	員(A) 旨	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生割	合 (B/A)				
60 人	36 .	٨ .		0 人	0	%				
	■卒業者数			19	'	Ļ.				
	■就職希望	望者数(D) 数(E)		19 19		<del>}</del>				
	■地元就聊	職者数(F)		10		人				
	■就職率 ■就職者:	(E/D) こ占める地元!	就職者の割	100 l合 (F/E)		%				
				53		%				
	■卒業者に	- 占める就職者	番の割合 (	(E/C) 100		%				
	■進学者数	数		0		人				
	■その他									
	(令和			目する令和4年5月1日	日時点の情報)					
		敞先、業界等 	Ť							
	(令和4年度トリミング		物病院	ペットショップ						
			. 1/2/17/17/6 \							
		評価機関等か 、例えば以下に					無			
第三者による 学校評価								III 6+ III + 10 +4		
7 以町岬	割	評価団体:			受審年月:			価結果を掲載した ームページURL		
当該学科の										
ホームページ	https://w	ww. rap. ac	jp/course	e/pg/						
URL										
	(A:単位	時間による算	定)							
	á	総授業時数							2,114 単位時間	
	ŧ	_	ち企業等と	連携した実験・実習・	・実技の授業時	<b></b>			2,114 単位時間 0 単位時間	
	4	うち		連携した実験・実習・		<b></b>			, , , , , , , , , , ,	
	#	う <i>‡</i>		連携した演習の授業の		<b></b>			0 単位時間	
	#	う <i>‡</i>	ち企業等と	連携した演習の授業の	持数		の授業時数		0 単位時間	
	#	う <i>‡</i>	ち企業等と	連携した演習の授業時 時数 うち企業等と連携し	寺数 た必修の実験	・実習・実技	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2,114 単位時間 0 単位時間	
	177	う t	ち企業等と	連携した演習の授業時 特数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	寺数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技の授業時数	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間	
	***	う t	ち企業等と	連携した演習の授業時 時数 うち企業等と連携し	寺数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技の授業時数	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2,114 単位時間 0 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		う: う: う:	ち企業等と記ち必修授業に	連携した演習の授業時 特数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	寺数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技の授業時数	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間	
実習等の実施状況	(B:単位 「	う t う t う t ( c	ち企業等と記ち必修授業に	連携した演習の授業時 特数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	寺数 た必修の実験 た必修の演習(	・実習・実技の授業時数	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うた うた うた うた 数による算定 総授業時数	ち企業等とき	連携した演習の授業® 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン	寺数 た必修の実験 た必修の演習( レシップの授業	・実習・実技 の授業時数 終時数)	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うた うた うた うた の 数による算定 総授業時数	ち企業等とうち企業等の	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習	等数 た必修の実験 た必修の演習( シシップの授業)	・実習・実技 の授業時数 終時数)	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うt うt うt (ご 数による算定 総授業時数 うt うt	ち企業等とうち企業等	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業的	等数 た必修の実験 た必修の演習( シシップの授業)	・実習・実技 の授業時数 終時数)	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うt うt うt (ご 数による算定 総授業時数 うt うt	ち企業等とう 5	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業制 時数	寺数 た必修の実験 た必修の演習 ( ンシップの授業 ・実技の授業用	・実習・実技 の授業時数 (時数)			0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うt うt うt (ご 数による算定 総授業時数 うt うt	ち企業等とう 5	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し 。	きない た必修の実験 た必修の演習 シンツブの授業 ・実技の授業 時勢 た必修の実験	・実習・実技 の授業時数 時数) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 実 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うま うま うま 数による算定 数を提業時数 うま うま	ち企業等とうち企業等	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習・ 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	き数 た必修の実験 た必修の実験 ため修の演習 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ため修の演習 ため修の演習 ため修の演習 ため修の演習 ため修の実験 ため修の演習 ため修の演習 に	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の			0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うま うま うま 数による算定 数を提業時数 うま うま	ち企業等とうち企業等	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し 。	き数 た必修の実験 た必修の実験 ため修の演習 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ため修の演習 ため修の演習 ため修の演習 ため修の演習 ため修の実験 ため修の演習 ため修の演習 に	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の			0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 「	うま うま うま 数による算定 数を提業時数 うま うま	ち企業等とうち企業等	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習・ 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	き数 た必修の実験 た必修の実験 ため修の演習 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ため修の演習 ため修の演習 ため修の演習 ため修の演習 ため修の実験 ため修の演習 ため修の演習 に	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の			0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 [i	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   で   で   で   で   で   で   で   で   で	ち企業等とおうち企業等	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習・ 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 た必修の演習 た必修の演習 ・次はの授業 た必修の演習 た必修の実験 た必修の演習	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の			0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 [	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ち企業等とようち企業等 ) ち企業等等とようち企業等 ) ち企業等等とようち企業等 の専等に従事	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し たと連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ち企業等とようち企業等 ) ち企業等等とようち企業等 ) ち企業等等とようち企業等 の専等に従事	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習・ 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の		第1号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ち企業等とようち企業等 ) ち企業等等とようち企業等 ) ち企業等等とようち企業等 の専等に従事	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し たと連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・ ・ ・ 実習・実技 の の の の の の の の の の の の の	の授業時数	(第1号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ち企業等とから必修授業等とから必修授業等とからの事件に従事等とかの事件に従事務に従	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習・ 連携した演習の授業制 情数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数 (時数) ・実習・実技 の授業時数 (専修学社	の授業時数		0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
と習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   ( : できまり   で	ち企業等とと うち企業等 うち企業等 うち企業等とと か修授業等 した。 のの事等に従い、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびい、 のの事等にびいい、 のの事等にびいい、 のの事等にびいい、 のの事等にびいい、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののするが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでるが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが、 ののでが	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業的 すな企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数 時数) ・実習・実技 の授業時数 (専修学社 (専修学社	の授業時数 の授業時数 な設置基準第41条第1項	<b>寶第2号</b> )	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人	
と習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ら企業等とより うち企業等とより うち企業等とよ業等を必要を持ている。 ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し た方質習の授業制 を進携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当算 者等 者等	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技  の授業時数  時数  ・実習・実技  の授業時数  ・実習・実技  の授業時数  (専修学社  (専修学社	の授業時数 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項	第2号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人 0 人	
表習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ら企業等とより うち企業等とより うち企業等とよ業等を必要を持ている。 ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し た方質習の授業制 を進携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当算 者等 者等	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 の授業時数 ・実著・実技 の機等学 ・事修学社 ・事修学社	の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第19 設置基準第41条第19 設置基準第41条第19 認置基準第41条第19	第2号) 第3号) 第3号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 4 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人	
表習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を 数員の属性(専任 数員について記	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ら企業等とより うち企業等とより うち企業等とよ業等を必要を持ている。 ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し た方質習の授業制 を進携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当算 者等 者等	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 の授業時数 ・実著・実技 の機等学 ・事修学社 ・事修学社	の授業時数 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第3号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 2 人 0 人	
と習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入)	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ら企業等とより うち企業等とより うち企業等とよ業等を必要を持ている。 ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し た方質習の授業制 を進携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当算 者等 者等	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 の授業時数 ・実著・実技 の機等学 ・事修学社 ・事修学社	の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第19 設置基準第41条第19 設置基準第41条第19 認置基準第41条第19	第2号) 第3号) 第3号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 4 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人	
表習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を 数員の属性(専任 数員について記	(B:単位 [#	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ら企業等とより うち企業等とより うち企業等とよ業等を必要を持ている。 ののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した演習の授業制 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し た方質習の授業制 を進携したインターン を修了した後、学校 した者であって、当算 者等 者等	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・実技の授業 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をの演習 ・大変をした必修の演習 ・大変をした必修の演習 ・ まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、	・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 の授業時数 ・実著・実技 の機等学 ・事修学社 ・事修学社	の授業時数 の授業時数 設置基準第41条第19 設置基準第41条第19 設置基準第41条第19 認置基準第41条第19	第2号) 第3号) 第3号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 200 単位時間  単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 単位 上 上 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
に記入) の属性(専任 教員について記	(B:単位 [	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ち企業等ととううち企業等 (を) おから (を) また	連携した演習の授業制 特数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し と連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業制 うち企業等をと連携し と連携した演習の授業制 うち企業等をと連携し と連携した演習の授業制 を登まる。 を登まる。 を登まる。 を発きと連携したインターン を作者による。 を必ず、 をもした。 をもした。 をもした。 をもした。 をもした。 をもした。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を変まる。 を	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・変勢	・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 等数 ・実習・実技 の授業時数 ・実験 の授業等数 (専修学社 ・専修学社 ・専修学社	の授業時数 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項	(第3号) (第3号) (第4号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人 0 人 1 人 4 人	
表習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入) を 教員について記	(B:単位 ^{***}	うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま   うま	ち企業等 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインターン 連携した実験・実習 連携した演習の授業的 時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携した うち企業等と連携したインターン を修了した後、で、当算 者等 者 職学位	時数 た必修の実験 た必修の演習 ・実技の授業 ・変勢	・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 等数 ・実習・実技 の授業時数 ・実験 の授業等数 (専修学社 ・専修学社 ・専修学社	の授業時数 な設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 な設置基準第41条第1項	(第3号) (第3号) (第4号)	0 単位時間 0 単位時間 2.114 単位時間 2.114 単位時間 0 単位時間 200 単位時間 200 単位時間 200 単位時間  単位 単位 単位 単位 単位 単位 人 単位 上 上 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編 成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、 また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

#### (3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
鈴木 博昭	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 事務局	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
伊藤 雪野	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
村木 美里	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤野 愛美	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
飯田 惇一	動物医療センターもりやま犬と猫の病院 副院長/獣医師	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
古和 香菜恵	株式会社カラーズ GREEN DOG 枚方 店長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

#### (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

(8月、2月) 年2回

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月22日 14:00-15:30 第2回 令和5年2月24日 10:00-11:30

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ①トリマーを目指す学生が学ぶべき皮膚病に関する知識レベルを確認し、犬猫健康管理学の授業で皮膚疾患の症状についての内容を
- 追加。また薬品メーカーによる、薬用シャンプーに関する特別セミナーを実施。 ②それぞれの病院・店舗で使っているカウンセリングシートを参考に、ルネサンス独自のカウンセリングシートを作成し、実習時の 受付対応にて飼い主様の要望や悩みを聞き出す実践を行った。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

トリマーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、元キャビンアテンダント等高い接客技術を持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導 から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業を選定している。

#### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、週1日90分間の授業を27回実施。トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーションカ・ 接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試 験による習得度の確認の上、評価している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

_	( = / ×(	23.1.11 E 28.1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	
Г	科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
		社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接遇検定に合格する。	浜松ビジネススクール
		接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイング を交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならな い。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する 教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計 画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

#### (2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 犬に優しいカットセミナー 連携企業等: 株式会社プランテージ

ペットエステ・トリミング科 教務 対象: 3名 令和4年7月4日(月) 期間:

犬の扱い方、犬に優しいトリミング技術について学ぶ 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 静岡大学 金子泰之先生 研修名: 発達障害の学生への支援

ペットエステ・トリミング科 教務 対象: 3名 期間: 令和4年8月1日(月)

内容 様々な学生への支援方法を学び、よりよい学生支援の実践に繋げる

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 株式会社プランテージ 研修名: かわいいカットセミナー

対象: 3名 ペットエステ・トリミング科 教務 令和5年6月22日 期間:

内容 グルーミングでのワンちゃんのかわいい顔バランスの考え方、ポメラニアンのかわいいカットについて

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 静岡県職業教育振興会 研修名: 新任教員研修

ペットエステ・トリミング科 教務 令和5年8月7日(月)·8日(火) 期間:

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部 の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネ サンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9)法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置、就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

## (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別						
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体						
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等						
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等						
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体						

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.rad.ac.jp/souseikai/img/report_rap2022.pdf

公表時期: 令和5年5月12日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報 を提供していること。」関係
- (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集 し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒 業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7)学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8)学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	_
(11) その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

## 授業科目等の概要

	(草	Ę P¶ŝ	果程	(文化・教養問	授業科目等の概要 関係) ペットエステ・トリミング科2年制)											
	_	分類	_	7710 2722	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		110		授	業	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	0			人と動物の関 係学 I	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0			飼養管理士総 論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動 物飼養管理士2級に合格する。	1 · 通	54		0			0			0	
3	0			グルーミング 研究 I	グルーミングに関するテーマを設定し、自身 で探究したものをプレゼンできる。	1 · 後	16				0	0		0		
4	0			犬猫の健康管 理学 I	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解 剖を学び、健康チェックを行う事が出来る。	1 · 前	22		0			0		0		
5	0			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1· 前	11		0			0		0		
6	0			動物関連施設実習	動物関連施設の視察研修を行い業界の広がり を知り、将来のきっかけをつくる。	1 特別	30				0		0	0		
7	0			動物飼育実習 I	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレッ ト・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1 · 通	54				0	0		0		
8	0			グルーミング 実習 I	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを 身に付ける。	1 · 通	585				0	0			0	
9	0			動物看護実習 I	動物病院で行われている、健康診断、保定、 消毒方法、検査を身に付ける。	1 ・後	32				0	0		0		
10	0			ドッグトレー ニング実習 I	犬への基本的なしつけを行いながら、その方 法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身 に付ける。	1 · 前	22				0	0		0		
11	0			トリマー接客 技術 I	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接遇検定に合格する。	1 . 通	54		0			0			0	0
12	0			コンピュータ 実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1 · 前	22				0	0		0		
13	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化が できる。	1 . 後	16		0			0		0		
14	0			清掃I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。	1 • 通	27				0	0		0		
15	0			挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
16	0			就職実務 I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履 歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活 動を開始できる。	1 · 後	16		0			0		0		
17	0			ルネサンス・ メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門 知識・技術と両輪となる学生の「人間力向 上」を図る。	1 · 通	20		0			0		0		
18	0			人と動物の関 係学 Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 · 通	6		0				0		0	
19	0			ペットショッ プ実務	業界動向を知り、ベットショップでの販売や 売り上げなど、実践的な実務を理解すること ができる。	2 · 後	11		0			0		0		
20	0			グルーミング 理論 II	犬種の特徴を基にしたグルーミングを考えることができ、飼い主様へ分かりやすく説明できる。	2 · 前	10		0			0		0		
21	0			動物行動学	グルーミング時に起こる犬の行動を理論的に 理解し、その対処が実践でき、飼い主様へ説 明できる。	2 · 通	21		0			0		0		
22	0			犬猫の健康管 理学 II	犬猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について 学び、正しい ブリーディングを説明できる。	2 · 後	22		0			0		0		
23	0			トリミング実 習	カットスタイルを学び、実際の飼い主様の要望を聞き、一般モデル犬にトリミングを実践できる。	2 · 通	472				0	0		0		
24	0			ペットエステ 実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を 取得に向けて、学校犬または自宅犬への施術 できる。	2 · 後	33				0	0		0		

25	0		動物看護実習Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、 電話対応、健康診断を身に付け実践できる。	2 · 前	20		0	0		0		
26	0		ドッグトレー ニング実習 II	犬の行動から、精神面を推測し、一般的な対処方法を学ぶと共にトリミングでも応用できる。		22		0	0		0		
27	0		動物飼育実習	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレッ ト・うさぎ・インコ)をとおして飼育方法を説明できる。	2 · 前	10		0	0		0		
28	0		クリップ研究	ケネルクリップ、ペットクリップの研究を し、なぜそのカットにするのかをお客様へ伝 える事が出来る。		20	0		0		0		
29	0		海外授業	その土地の文化や最先端に触れ、トリミング のあり方や将来を考えることが出来る。	2 後	30		0		0	0	0	
30	0		インターン シップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、ブロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。		200		0		0	0		0
31	0		トリマー接客 技術 II	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールブレイングを交えて学び、検定に合格する。	2 · 通	21	0		0			0	0
32	0		清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。		21		0	0		0		
33	0		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。		21		0	0		0		
34	0		LHR II	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化が できる。		21	0		0		0		
35	0		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内 定獲得につなげる。		10	0		0		0		
36	0		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。		120		0	0		0		
		合	H	36	i 1	4目		2114		単	位	(単	位時間)

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

# (留意事項)

- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

### 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設	置認可年月	日 校	長名			所在地						
専門学校ルネサン		平	成21年3月25	5日 中野	勘次郎		430-0943 静岡県浜松市中区:	北田町134-38						
ト・アカデミ							053-455-2550							
設置者名		高文	<u></u> 立認可年月		長者名	Ŧ	430-0943	所在地						
学校法人爽青	会	平	成20年3月20		事長 勘次郎		静岡県浜松市中区: 053-450-0820	北田町130-12						
分野		認定課程	名	認定学科	名		士認定年度	高度専門士認定	官年度	職業実践専	<b>厚門課程認定年度</b>			
文化・教養	専門課程	(文化・	教養関係)	ドッグ・ウェル	レネス科	平成:	29(2017)年度	-		平成2	6(2014)年度			
学科の目的	犬の健康	と長生きを	支えるととも	らに、飼い主に運動	・食事・し	つけを楽しく	教え、犬との生活全	た般のアドバイスがで	きる犬の	専門家を育成	なする。			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	取得可能的中途退学	資格:愛玩 者:3人(中	動物飼養管理退率7.3%)	≣士2級/サービス接近	遇検定3級/·	ペット栄養管	理士/マナーハンド	ラーテスト						
修業年限	昼夜	全課程の値	修了に必要な 位数	総授業時数又は総単 数	<u>1</u>	義	演習	実習	美	<b>ミ験</b>	実技			
2 年	昼間	※単位時間、 に記入	、単位いずれか	2,053 単位時間 単位	676	単位時間	O 単位時間 単位	1,337 単位時間 単位	(	単位時間 単位	0 単位時間 単位			
生徒総定員	生徒実	生徒実員 (A)   留学生数 (生徒実員の内数) (B)   留学生割合 (B/A)												
80 人	48	Д		0 人	0	%								
	■卒業者		n)	23 23		<u>۲</u>								
	■就職者	·望者数(I ·数(E)	υ)	23		<del></del>								
	■地元就	職者数(F	F)	15 100		人								
	■就職率 ■就職者		也元就職者の			%								
				65		%								
	■卒業者	に占める就	職者の割合	(E/C) 100		%								
就職等の状況	■進学者			0		Ž								
33.34.1 42.01.00	■その他													
	(令和			関する令和4年5月1	日時点の情	報)								
	l	職先、業	界等											
	1	度卒業生) ・ョップ、!	動物病院、	ドッグリゾートホラ	テル、トレ	ーニング施	設							
			等から第三 ^を は下について任				無							
第三者による 学校評価							#sp.	価結果を掲載した						
		評価団体:			受審年月:			一ムページURL						
当該学科の														
ホームページ URL	https://	www.rap.a	ac.jp/cours	se/dw/										
	( A 294 /-	+n+00/- L	7 第 中 \											
	(A:単1:	立時間による							0.050	N 44 mt 88				
		総授業時数		*********		alle n+ skt.				3 単位時間				
				:連携した実験・実習		<b>耒時</b> 叙				単位時間				
				:連携した演習の授業	時数					) 単位時間				
			うち必修授業							単位時間	⊢			
				うち企業等と連携し	た必修の実	験・実習・身	段技の授業時数		(	) 単位時間				
				うち企業等と連携し	た必修の演	習の授業時数	t		(	単位時間	1			
企業等と連携した			(うち企業等	と連携したインター	シシップの	授業時数)			200	)単位時間				
実習等の実施状況 (A、Bいずれか														
(A、Bいすれか に記入)	(B:単位	立数による乳	算定)											
		総授業時数	枚							単位				
			うち企業等と	:連携した実験・実習	・実技の授	業時数				単位				
			うち企業等と	連携した演習の授業	時数					単位				
			うち必修授業	<b>美時数</b>						単位				
				うち企業等と連携し	た必修の実	験・実習・身	<b>技の授業時数</b>			単位				
				うち企業等と連携し	た必修の演	習の授業時数	t			単位				
			(うち企業等	・ と連携したインター	-ンシップの	授業時数)				単位				
		てその担当 門課程の修	当する教育等に	星を修了した後、学材 に従事した者であって 亥業務に従事した期間	、当該専	(専修学	交設置基準第41条第1項	第1号)	1	1 人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)						第2号)	1	1 人					
教員の属性(専任								第3号)	(	) ,				
教員について記	(									) <u>/</u>				
入)														
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)						<b>第5号</b> )	0 A						
		at a							2	2 人				
		上記①~⑤	のうち、実績	務家教員 (分野におけ	けるおおむね	15年以上の	<b>実務の経験を有し、か</b>	つ、高度						
				者を想定)の数					1	۱۸				
	I													

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を 行っていること。」関係
- (1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。) における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。 ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

#### (2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

#### (3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中野・良太	学校法人爽青会 副理事長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
北風 孝広	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
鈴木 博昭	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 事務局	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
東海林 克彦	公益社団法人日本愛玩動物協会 会長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	1
平林 弘行	さくら動物病院 院長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

  - - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月25日 17:00~18:30 第2回 令和5年2月16日 17:00~18:30

# (5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物病院で愛玩動物看護師の補助を行うことを想定した授業を検討していたが、委員からの動物病院でしつけ方教室が行えるしつけのプロを育成すべきとの意見から、犬の行動学を強化し、専門性を高めた。また、社会人教育の一貫として、手紙の書き方、電話対応、キャリア教育を学ぶ一般常識という授業を追加した。

### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ドッグトレーナーは接客業であり、コミュニケーション力は必須のビジネススキルである。接客スキルの向上を目的に、高い接客技術を 持つ講師を派遣していただける企業を選定している。また、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行う などの体制をとることが可能な企業を選定している。

#### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から1月にかけて、飼い主様との円滑なコミュニケーションを図り、適切なカウンセリングが行えるよう、接客対応の専門家から接客 対応について学んでいる。専門性の高い授業であり、知識を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価を実施してい る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができることを目指す。	浜松ビジネススクール
	インターンシップ先 (就職先) で必要になる社会人ビジネス常識を身につける。	浜松ビジネススクール
接客ロールプレイ・ 飼主カウンセリング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングが できる。	浜松ビジネススクール

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育) に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

#### (2) 研修等の実績

期間:

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 地方創生事業 浜名湖ドッグマリンスポーツ聖地化構 想概要説明会

令和4年4月17日 (日) 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名

連携企業等: 株式会社 COREZON

「アウトドアライフ」と「ペットライフ」を融合し、動物介在を通して人類の健康寿命を延伸し、地方創生につなげるこ 内容 とを目的とし、動物介在の要素を加えたドッグマリンスポーツの事業化の推進と地域雇用に通じる教育事業、並びにヘル スケアと地方創生への寄与のあり方を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害の学生への支援 連携企業等: 静岡大学 金子泰之先生

期間: 令和4年8月1日(月) 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名

内容 様々な学生への支援方法を学び、より良い学生支援の実践に繋げる。

#### (3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ANIMALPIC FESTA in 浜名湖 連携企業等: 株式会社 COREZON

期間: 令和5年9月30日(土)-10月1日(日) 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名

内容 本校で強化しているペットツーリズムの一環として、ペットと一緒にアウトドアを楽しむという、新しいライフスタイル を提案するイベントの企画検討スタッフとして参加する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員パソコン研修 連携企業等: 日本デジコム株式会社

期間: 令和5年8月16日(水)~25(金)の中で1日 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務1名

内容 教員として必要なパソコンの操作方法を学ぶとともに、学内でのパソコン使用ルールとコンプライアンスを学び、学生指導に活かす。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3) 学校関係者評価結果の活用状況
- 卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
- → 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

#### (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例) 企業等委員、PTA、卒業生等
- (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ( ) URL: https://www.rad.ac.jp/souseikai/img/report_rap2022.pdf

公表時期: 令和5年5月12日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

学校が設定する項目
理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
講師・設備(公式WEBサイト)
就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
授業ブログ(公式WEBサイト)
学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
_
_

※ (10) 及び (11) については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

## 授業科目等の概要

	授業科目等の概要 (専門課程(文化・教養関係) ドッグ・ウェルネス科)															
	(寺	分類	性()	又化・奴後関係	トック・フェルネス件)				授	後業ス	方法	場	所	教	員	
						配当	授	単			実験			専		企業
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	年次・	業時	位	講	演	実	校	校	3	兼	等 と の
	修	必修	選択			学期	数	数	義	習	習・実	内	外	任	任	連携
					【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動	1					技					
1	0			人と動物の関 係学 I	物介在活動・療法・教育など社会活動を理解 し、人と動物の共生に寄与する。	通	15		0				0		0	
2	0			ドッグ・ウェ ルネス概論	祉等を学び、ドッグトレーナーとして顧客対応 する際の基礎知識を体得する。	1 · 通	54		0			0		0		
3	0			心理学概論	広い視野でものごとを捉えられるしなやかな心を持つ。授業を受ける前後で、ものごとの捉え方が変わった事を認識出来る。	1 • 前	22		0			0			0	
4	0			動物看護学 I	犬猫のかかりやすい病気や感染症の感染経路、 予防法を理解すると共に、身体の構造、筋骨格・呼吸器・消化器・循環器・泌尿器・内分泌系の機能を理解し、ベットショップや動物病院で働く知識を身につける。	1 · 通	54		0			0		0		
5	0			飼養管理士総 論	動物関連の法規について理解を深め、個体に 合った適正飼育を飼い主に指導できる愛玩動物 飼養管理士2級合格を目指す。	1 . 通	54		0			0			0	
6	0			ドッグフィッ トネス概論 I	動物のフィットネスの歴史と現状を知り、犬の ウェルネスケアと管理の重要性を理解する。	1 通	27				0	0			0	
7	0			ペット産業研 究	ペットビジネスの基礎知識としてペット業界を 俯瞰する。流通・小売の知識を活かし、職場で 実践できる。	1 · 通	54		0			0		0		
8	0			行動学	ドッグトレーナーとして犬の行動学の知識を吸収し、その知識を飼い主へフィードバックできるようにする。	1 · 通	24									
9	0			ドッグトレー ニング実習 I	犬のモチベーションをコントロールし、正の強化・負の罰を主としたトレーニング技術を習得できることを目指す。	1 · 通	108				0	0		0		
10	0			ドッグフィッ トネス実習 I	プールやバランスボールなどを使った、ドッグ フィットネスの技術習得を目指す。	1 · 通	54				0	0			0	
11	0			動物看護実習 I	動物病院で必要とされる動物病院スタッフの役割を理解し、消毒・滅菌・保定・診察業務全般 スキルの習得を目指す。		108				0	0		0		
12	0			グルーミング 実習	犬のグルーミングに関する知識と技術を学び、 コミュニケーションカとグルーミング技術の習 得を目指す。	1 · 通	52				0	0			0	
13	0			動物飼育実習 I	動物取扱者として必要な、犬・猫・ウサギ・モル モット・ハムスター・インコの適切な飼育方法を 理解習得する。	1 · 通	54				0	0		0		
14	0			健康管理実習	ライフステージに応じた健康維持・増進の方法 を学び、飼い主にアドバイスができる。	1 · 後	32				0	0			0	
15	0			ペットツーリ ズム	ベットイベントやベットツーリズムにおいて犬 と同伴で利用できる施設やサービスを理解し、 その概要や利用の際のしつけマナー等を知る。	1 · 後	8									
16	0			浜松市動物愛 護 教 育 セン ター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレー ニングを行い、動物保護の現状を理解する。	1 後	6				0		0	0		
17	0			動物関連施設 実習	最先端動物関連施設視察研修を行い、業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1 特 別	30				0		0	0		
18	0			ビジネス接客 マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができること、およびサービス接遇検定3級合格を目指す。	1 · 通	54		0			0			0	0
19	0			コンピュータ 実習 I	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用する事が出来るようにする。	1 · 前	22				0	0		0		
20	0			スマイルコ ミュニケー ション	人前で運動・食事・しつけ指導を行っている最中でも、笑顔で楽しく実技を行うことができる。	1 · 後	16		0			0			0	
21	0			一般常識	研修日誌や手紙の書き方、電話対応のしかたを 実践的に学び、自己分析ができるようにする。	1 · 通	24									
22	0			就職実務I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴 書の書き方、面接練習等を通して、目指す職種 を明確にする。	1 · 後	16		0			0		0		
23	0			清掃 I	トイレ・実習室・HR教室・校舎共有部分など、 使う前よりきれいな清掃ができる。	1 · 通	27				0	0		0		
24	0			挨拶 I	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	1 通	27				0	0		0		
25	0			ルネサンス・ メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を 図る。	· 通	20		0			0		0		
26	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提 出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができ る。	· 後	16		0			0		0		
27	0			人と動物の関 係学Ⅱ	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	通	6		0				0		0	
28	0			ペット栄養管 理士総論	ペット栄養学の観点から大種ごとの特徴や疾患 別の食事管理等を理解する。	通	21		0			0		0		
29	0			動物看護学Ⅱ	動物看護の視点から繁殖を学ぶと共に、内外部 寄生虫についての分類と予防法を理解する。	2 · 通	21		0			0		0		
30	0			犬種学・猫種 学	それぞれの犬種・猫種の特徴や注意点、遺伝性 疾患を理解する。	2 · 通	21		0			0		0		
31	0			ドッグトレー ニング実習 II	1年次のトレーニング実習を応用し、自発的な 行動を引き出すトレーニング方法の習得と問題 行動対処法を理解し、マナーハンドラーテスト 合格を目指す。	2 · 通	105				0	0			0	

		_				Ι.	_	_	_		_	_			
32	0			動物看護実習 Ⅱ	動物病院における実務を理解し、動物看護師と して働く際の補助作業を実践的に学ぶ。	通	42			0	0		0		
33	0			グルーミング 実習Ⅱ	ペットショップ店員や動物病院スタッフとして 求められるグルーミング技術を習得し、就職活動に役立てる。	2 · 通	63			0	0			0	
34	0			ドッグスポー ツ・ハンドリ ング実習	様々なドッグスポーツを犬に教えることで、大の個性を掴み、ハンドリングカの向上を目指す。	2 . 通	84			0	0		0		
35	0			浜松市動物愛 護 教 育 セ ン ター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	2 · 通	6			0		0	0		
36	0			動物飼育実習 II	動物の世話を1年生に指導することで、実践力と応用力、また正確性と迅速性を身につける。	2 · 前	20			0	0		0		
37	0			一般犬トレー ニング実習	一般の飼い主様から犬をお借りし、一般家庭犬のトレーニング方法や飼い主様への対応を習得し、実践力を身につける。	2 通	84			0	0		0		
38		0		[選択A] 動物病院実務	動物病院での実務的項目を反復学習し、動物病院スタッフとして求められる知識・技能を身につけた上で、顧客対応ができる。		16			0	0		0		
39		0		[選択A] ペット栄養実 習	ペットに必要な栄養素や食餌管理の基礎を学び、その応用として栄養指導の実践力を身につける。		40			0	0			0	
40		0		[選択A] ペットツーリ ズム	ベット業界を俯瞰し、自身の職業観を広げる。 また、ベットイベントやベットツーリズムにま いて犬と同伴で利用できる施設やサービスを理 解し、飼い主等にその概要や利用の際のしつけ マナー等について説明できる。	∮ -	28			0	0	0	0		
41		0		[選択B] ドッグフィッ トネス概論Ⅱ	ハイドロセラビスト2級相当、ドッグアロマクアアドバイザー相当の技術を身につけ、事前計明・施術・術後ケアまですべてが行える。		42			0	0			0	
42		0		[選択B] ドッグフィッ トネス実習Ⅱ	ブールやバランスボールなどを使った、フィットネスの技術習得を目指す。	2 · 通	42			0	0			0	
43		0		[選択B] 動物福祉・ボ ランティア	動物保護を中心に動物福祉やボランティア活動 等の現状を知り、またベット災害危機管理士 級相当の知識と「共助」について理解する。		4			0		0	0		
44	0			海外授業	海外最先端のウェルネスケアを学び、日本派ペットケアの在り方や日本のペット業界の未来 を考える。		30			0		0	0		
45	0			インターン シップ	インターンシップを通して、プロとなるために 不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にす る。		200			0		0	0		0
46	0			ビジネスコ ミュニケー ション	インターンシップ先(就職先)で必要になる社会 ビジネス常識を身につける。	2 · 前	10	0			0			0	0
47	0			接客ロールプ レイ・飼主カ ウンセリング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主だ ウンセリングができる。	2 . 後	11	0			0			0	0
48	0			就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、履歴書 作成・社会保障の理解、面接対策を行う。	2 · 前	10	0			0		0		
49	0			清掃Ⅱ	トイレ・実習室・HR教室・校舎共有部分など、 使う前よりきれいな清掃ができる。	2 · 通	21			0	0		0		
50	0			挨拶Ⅱ	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くでき る。	2 · 通	21			0	0		0		
51	0			実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また 新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2 . 後	120			0	0		0		
52	0			LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提 出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができ る。		11	0			0		0		
			合計		52	2 1	相			2053			単位	<u>()</u>	単位時間)

	卒業要件及び履修方法	授業期	間等
Γ	卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
	履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

### 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		is:	设置認可年月	B :	校長名		400 0040	所在地			
専門学校ルネサン ト・アカデミ		平	成21年3月25	5日 中里	<b>勘次郎</b>	〒 (住所) (電話)	430-0943 静岡県浜松市中区 053-455-2550	北田町134-38			
設置者名		該	_{这立認可年月}	日	た表者名	Ŧ	430-0943	所在地			
学校法人爽青	会	平認定課程	成20年3月20		理事長 予 勘次郎	(住所) (電話)	静岡県浜松市中区 053-450-0820 門士認定年度	北田町130-12   高度専門士認定	7年度	聯業宝姓	専門課程認定年度
	+ nn == **			動物海洋飼育・ア				同及等门工能从	- 牛皮		
文化・教養	専門課程	文化・	教養関係)	(陸コー		平原	戊27(2015)年度	-		平成2	26(2014)年度
学科の目的	幅広い知	識をお客様	後と動物たち!	□還元し、自然・動物	物・人をつなぐ架	け橋にな	れる飼育員を育成する	۰			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格:サー 者:0人(中		E3級/愛玩動物飼養管	管理士2級						
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要な 位数	総授業時数又は総単 牧	講義	l .	演習	実習	実	験	実技
2 年	昼間	※単位時間 に記入	、単位いずれか	1,994 単位時間 単位	564	単位時間単位	O 単位時間 単位	1,430 単位時間 単位		単位時間単位	O 単位時間 単位
生徒総定員		<b>尾員(A)</b>	留学生数	(生徒実員の内数) (B)	留学生割台						
100 人		人 (0)		0人	0	%					
	■卒業者 ■就職希	·数 (C) ·望者数 (	D)	43		人	_				
	■就職者	数 (E)		43		人					
	■地元駅	識者数( E(E/D)		19 100		人 %	_				
			地元就職者の	割合 (F/E)			_				
	■卒業者	に占める討	<b>抗職者の割合</b>	(E/C)		%	_				
				100		%	_				
就職等の状況	■進学者			0		人	_				
	(令和	4	年度卒業者に	関する令和4年5月1	日時点の情報)						
	■主な就	職先、業									
		度卒業生)									
	水族館、	アクアシ	ョップ、ペ	ットショップ他							
	■民間の	評価機関	等から第三	者評価:			無				
第三者による	※有の場合	ふ、例えばじ	以下について任	意記載							
学校評価		評価団体:			受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
								A. JOKE			
当該学科の ホームページ	https://	www.rap.	ac.jp/cours	se/ac/							
URL											
	(A:単f	立時間によ	る算定)								
		総授業時数	数						1, 994	単位時間	
			うち企業等と	連携した実験・実習	・実技の授業時数	Į.			0	単位時間	
			うち企業等と	連携した演習の授業	時数				0	単位時間	
			うち必修授業	時数					1, 814	単位時間	
				うち企業等と連携し	た必修の実験・実	実習・実技(	の授業時数		0	単位時間	
				うち企業等と連携し	た必修の演習の排	<b>受業時数</b>			0	単位時間	
企業等と連携した			(うち企業等	と連携したインター	ンシップの授業時	特数)			200	単位時間	
実習等の実施状況				·				<u>-</u>			
(A、Bいずれか に記入)	(B:単f	立数による	算定)								
		総授業時数	数							単位	
			うち企業等と	:連携した実験・実習	・実技の授業時数	ţ				単位	
			うち企業等と	:連携した演習の授業	時数					単位	
			うち必修授業	時数						単位	
				うち企業等と連携し	た必修の実験・多	実習・実技(	の授業時数			単位	
				うち企業等と連携し	た必修の演習の技	受業時数				単位	
			(うち企業等	と連携したインター	ンシップの授業時	持数)				単位	
		担当する教	教育等に従事し	星を修了した後、学校 した者であって、当該	専門課程の修業	/ <del></del>	5 th 5 1, 22 th 1 1 th 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5億1日)	^	, 1	
		年限と当記者	核業務に従事し	した期間とを通算して	六年以上となる	(4918年	学校設置基準第41条第1項	(m) '5/	U	۸	
		② 学士(	の学位を有する	6者等		(専修	学校設置基準第41条第1項	第2号)	3	Д	
教員の属性(専任		③ 高等等	学校教諭等経駅	食者		(専修	学校設置基準第41条第1項	(第3号)	0	Д	
教員について記 入)		④ 修士(	の学位又は専門	門職学位		(専修=	学校設置基準第41条第1項	(第4号)	0	,	
χ)		⑤ そのf					学校設置基準第41条第1項				
			_			( =# PS' =	. 瓜瓜里坐十五十五五十	(3.0.37			
		計							4	Д	
					るおおむね 5 年」	以上の実務	の経験を有し、かつ、	高度の実	3	,	
		伤の能力を	を有する者を想	5.足)の数						-	ı

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編 成を行っていること。」関係
- (1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。 ・「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。 ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、 また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

#### (3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中野 良太	学校法人爽青会 副理事長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
山本 恵士	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
山﨑 千華	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中村 智昭	伊豆シャボテン動物公園 園長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
土屋 考司	伊豆・三津シーパラダイス 飼育長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
片井 信之	NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	1

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - - - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
    - ②学会や学術機関等の有識者
    - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

## (4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月27日 13:00~15:00 第2回 令和5年2月13日 13:00~15:00

## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ・コロナ禍における採用と新入社員の変化を確認すると、よりインターン実習(現場経験)の必要性を訴えていた。学生の成長面、 採用側の学生理解の両面において、インターンの積極的な参加を継続し実施する。
- ・動物園や水族館でのコロナ時の実際の苦労や対処の具体例は、時事問題の1つとして『動物園水族館学Ⅱ』のシラバスの1コマに組 み込まれた。

#### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

飼育員としてのさまざまな視点を養うため、講義・実習を含めて現役の飼育員やトレーナーを派遣して授業を行ってくれる企業を選 出している。期末試験、実習日誌などをもとに、評価を頂く。

#### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から7月にかけて、繁殖やドルフィン研修、展示方法において、自然と動物、人をつなぐ飼育人になることを目的として、現役の プロから実践的に学んでいる。専門性の高い授業であり、知識・技術を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価 を実施している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Γ	科目名	科目概要	連携企業等
	l E'->'	馬の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業 意図を理解できる。	パロミノポニークラブ
		鳥の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業 意図を理解できる。	掛川花鳥園

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育) に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならな い。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する 教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計 画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

# (2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 豊橋総合動植物公園 研修名: 動物行動調査の手法

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 対象: 2名 期間: 令和4年6月29日(水)

動物の行動分析の基本について、観察手法・記録方法等に関しての説明 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 静岡大学 金子泰之先生 研修名: 発達障害の学生への支援

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 期間: 令和4年8月1日(月) 対象:

4名

様々な学生への支援方法を学び、より良い学生支援の実践に繋げる。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: 豊橋総合動植物公園 研修名: (ヤギ) 動物行動調査/ウサギ繁殖研究結果

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 対象: 令和5年3月3日(水) 期間:

1名

ヤギの行動観察と行動分析、ウサギ繁殖について学ぶ 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 静岡県職業教育振興会 研修名: 新任教員研修

動物海洋飼育・アクアリウム科 教務 期間: 令和5年8月8日(火) 対象:

1名

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育 内容

キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同財団

から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

## (1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部 の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネ サンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い

→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

## (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例) 企業等委員、PTA、卒業生等
- (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.rad.ac.jp/souseikai/img/report_rap2022.pdf

公表時期: 令和5年5月12日

URL:

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

) )

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集 し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒 業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革 (公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	_
(11) その他	_
V. / 1 a a \	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法ホームページ

URL:

・ (広報誌等の刊行物)・ (その他)(説明会での説明))

https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

## 授業科目等の概要

	(萌	門謂	程	(文化・教養関	授業科目等の概要係) 動物海洋飼育・アクアリウム科(陸コース	) )										
	_	分類				Г	110		授	業	_	場	所	教	Ą	
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次	授業	単位	蕭	演	実験・実	校	校	専	兼	企業等との
	修	必修	選択			学期	数	数	義	副	習・実技	内	外	任	任	の 連 携
1	0			人と動物の 関係学 I	人と動物の関係に関して、現代社会における動 物関連諸問題への関心を高められる。	1 · 通	15		0				0		0	
2	0			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物 飼養管理士2級の資格取得ができる。	1 · 通	54		0			0			0	
3	0			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全 般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1 · 通	43		0			0		0		
4	0			鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法をなど学び、現場 での作業意図を理解できる。	1 · 前	22		0			0			0	0
5	0			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる 探求心を発揮できる。	1 · 前	33		0			0		0		
6	0			動物園水族館学I	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語 について正しい説明ができる。	1 · 前	22		0			0		0		
7	0			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(動物園・水族館等) 視察 研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっか けをつくる。	1 . 特別	30				0		0	0		
8	0			動物飼育実 習 I	学校飼育動物(イス・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレッ ト・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎が できる。	1 . 通	40				0	0		0		
9	0			アニマルト レーニング 実習 I	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方 の基礎を押さえた馴致ができる。	1 · 通	54				0	0		0		
10	0			動物看護実 習 I	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学 び、基本的検査手順を進める事ができる。	1 前	22				0	0		0		
11	0			飼育実習 陸 I	学校飼育動物(チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・ハリネ ズミ・カメ・ヘビ・トカザなど)を通して基本的な飼 育管理ができる。	1 · 通	122				0	0		0		
12	0			飼育実習 水I	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本 的な飼育管理ができる。	1 · 通	121				0	0		0		
13	0			学外演習 I	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業 界と飼育員像を理解できる。	1 . 後	112				0		0	0		
14		0		【選択】畜 産学実習	産業動物業界を理解し、就職先の1つとして検 討できる。生産物への正しい分類ができる。	1 . 後	48				0	0			0	
15		0		【選択】ダ イビング実 習	潜水士試験の突破 及び PADIオープ ンウォータータ イー パーの資格取得を出来るようになる。	(1 ・後)	(48)				0		0		0	
16	0			コンピュー タ実習	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1 · 前	22				0	0		0		
17	0			プレセ゚ンテーション トレーニンク゚ I	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、 不安なく人前で発表する事ができる。	1 · 通	54		0			0			0	
18	0			挨拶I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
19	0			掃除I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実 践することにより、社会で必要とされる能力を 身に付ける。	1 · 通	27				0	0		0		
20	0			就職実務I	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴 書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を 開始できる。	1 後	16		0			0		0		
21	0			一般常識 I	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業 界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1 . 後	16		0			0		0		
22	0			LHR I	スケジュール管理・就職活動管理および書類提 出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができ る。	1 · 前	11		0			0		0		
23	0			ル ネ サ ン ス・メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間カ向上」を 図る。	1 · 通	20		0			0		0		
24	0			人と動物の 関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 · 通	6		0				0		0	
25	0			動物看護学	飼育や現場において看護に関する知識を利用す ることが出来る。	2 · 通	42		0			0		0		
26	0			動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や 向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2 · 通	42		0			0		0		

_		_	_			_		_	_	_			_		_	
27	0			パピーケア 概論	しつけや健康管理、ワクチン接種など子犬期の 飼育管理について正しく説明できる。	2 · 後	11		0			0		0		
28	0			動物福祉学	動物業界で働く上で重要な法律や愛護について 学び、倫理観を持ってプロとして業務にあたる 事ができる。	2. 後	11		0			0		0		
29	0			ペ ッ ト ショップ実 務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法に ついて正しく理解し活用できる。	2. 後	22		0			0		0		
30		0		【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での 作業の意図を理解できる。	2 · 前	20		0			0			0	0
31		0		【選択】水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	2 · 通	(22)		0			0			0	
32	0			動物飼育実 習II	1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2 · 前	30				0	0		0		
33	0			動物看護実 習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2 · 後	22				0	0		0		
34	0			グルーミン グ実習	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入 れやシャンブーに取り組む事ができる。	2 · 後	16				0	0			0	
35	0			アニマルト レーニング 実習 II	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物な どに対して実施できる。	2 · 通	42				0	0		0		
36	0			飼育実習 陸 II	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する 要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2 · 通	79				0	0		0		
37	0			飼育実習 水II	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2 · 通	79				0	0		0		
38	0			学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を 体験し、1年次の課題を克服できる。	2 · 前	70				0		0	0		
39	0			野生動物学 実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2 · 前	20		0			0			0	
40	0			環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデル の実践を通して学び、活用できる。	2 · 後	22				0	0			0	
41	0			フィールド ワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境 において活用できる。	2 · 後	33				0		0	0		
42		0		【選択】移動動物園実習	移動動物圏の運営を通して、飼育動物のふれあいを動物に安全にかつ楽しく実施できるようになる。	2 · 後	22				0	0			0	
43		0		【選択】海 洋哺乳類実 習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービ スを理解し、実践できる。	2 · 前	(20)				0	0			0	
44	0			インターン シップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2 · 前	200				0		0	0		0
45	0			海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、戦 物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流 のあり方を見出す。	2 · 後	30				0		0	0		
46	0			スマイルコ ミュニケー ション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実 技・会話を行うことができる。	2 · 前	10		0			0			0	
47	0			プレセ゚ンテーション トレーニングⅡ	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある発表ができる。	2 · 通	42		0			0			0	
48	0			挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 · 通	21				0	0		0		
49	0			掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実 践することにより、社会で必要とされる能力を 身に付ける。	2 · 通	21				0	0		0		
50	0			就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2 · 前	10		0			0		0		
51	0			一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用 試験における、一般教養 (筆記) 試験での突破 を目指す。	2 · 前	10		0			0		0		
52	0			LHR II	スケジュール管理・就職活動管理および書類提 出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができ る。	2 前	10		0			0		0		
53	0			実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新 人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	後	120				0	0		0		
$\Box$		_	合語	†	53	1	4目		_	_	1994	_	1	⊉位	(単	位時間)

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
<b>履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講</b>	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- については、主たる方法についてOを付し、その他の方法についてΔを行すこと。
  2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目についてOを付すこと。

## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		Ĭ.	2置認可年月	<b>=</b>	校長名			所在地			
専門学校ルネサン	ス・ペッ					Ŧ	430-0943				
ト・アカデミ		4	成21年3月25	"   "	中野 勘次郎	(住所) (電話)	静岡県浜松市中区 053-455-2550	北田町134-38			
設置者名		Ē.	设立認可年月	∃	代表者名			所在地			
学校法人爽青	<b>音</b> 会	<u> </u>	成20年3月20	B   .	理事長	(住所)	430-0943 静岡県浜松市中区	北田町130-12			
					中野 勘次郎	(電話)	053-450-0820				
分野		認定課程	星名		学科名	専門	門士認定年度	高度専門士認知	E年度 職	業実践専	門課程認定年度
文化・教養	専門課種	星(文化・	教養関係)		・アクアリウム科 コース)	平成	27(2015)年度	-		平成26	(2014)年度
学科の目的	幅広い知	識をお客様	と動物たちに			ナ橋になれる	飼育員を育成する。				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		資格:サー 者:0人(中		3級/愛玩動物飼養	管理士2級						
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要な 位数	総授業時数又は総	単講義	i .	演習	実習	実験		実技
2	昼間	※単位時間。 に記入	、単位いずれか	1,994 単位時間	F 564	単位時間	0 単位時間	1,430 単位時間	0 単位	_	0 単位時間
生徒総定員	生徒実	 	留学生数	単位 (生徒実員の内数) (B)	留学生割台	単位 <b>à</b> (B/A)	単位	単位	単位		単位
100 /	0.4			0.1							
100 人		人 (0)		0 人		%					
	■卒業者 ■就職希	・ 数(い ・ 望者数(	D)		43 43	<del></del>					
	■就職者	数 (E)			43	人					
		職者数(	F)		19	人					
	■就職率 ■就職者		也元就職者の割		100	%					
					44	%					
	■卒業者	に占める勍	<b>t職者の割合(</b>		100	04					
45.84	■進学者	数			0	人					
就職等の状況	■その他					-					
	(令和			関する令和4年5月	1日時点の情報)						
		職先、業	齐寺								
		度卒業生)									
	水族館、	アクアン	ョッノ、ヘッ	トショップ他							
	■民間の		等から第三者	証価・			無				
第三者による			人下について任意				AIK.				
学校評価							93	価結果を掲載した			
		評価団体:			受審年月:		**	ームページURL			
当該学科の											
ホームページ	https://	www.rap.	ac.jp/course	e/ac/							
URL											
	(A:単位	立時間によ	る算定)								
		総授業時数							1,994 単位	2時間	
			うち企業等と	連集した宝融・宝器	習・実技の授業時数				0 単位	7時間	
				連携した演習の授業	<b>集時</b> 数				0 単位		
			うち必修授業	<b>诗数</b>					1,814 単位	7時間	
				うち企業等と連携	した必修の実験・実	習・実技の	受業時数		0 単位	2時間	
				うち企業等と連携	した必修の演習の授	業時数			0 単位	2時間	
			(うち企業等	・ と連携したインタ-	- ンシップの授業時	数)			200 単位	2時間	
企業等と連携した 実習等の実施状況					1000173						
(A、Bいずれか	,		# <b>-</b> \								
に記入)	(B:単作	立数による									
		総授業時数							単位	ī	
			うち企業等と	連携した実験・実	留・実技の授業時数				単位	ž	
			うち企業等と	連携した演習の授業	<b>業時数</b>				単位	ż	
			うち必修授業	持数					単位	<u> </u>	
				うち企業等と連携	した必修の実験・実	習・実技の	受業時数		単位	ž	
					した必修の演習の授						
			/ 7 to A = 1						単位	_	
			(つち企業等)	C 運携したインタ-	-ンシップの授業時数	a()			単位	L	
		① 東修生	学校の専門興程	を修了した後 学	校等においてその担						
		当する教育	育等に従事した	者であって、当該	専門課程の修業年限		校設置基準第41条第1項	(第1号)	0 人		
		< 自該業権	がに促争した期	間とを通算して六:	+以上となる苔						
		② 学士0	の学位を有する	者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第2号)	3 人		
教員の属性(専任		③ 高等等	学校教諭等経験	者		(専修学	校設置基準第41条第1項	(第3号)	0 人		
教員について記			の学位又は専門			(南收學	校設置基準第41条第1項	(第4年)	0 人	$\overline{}$	
入)				7-W-7- 1-2-						-	
		⑤ そのff	也			(専修学	校設置基準第41条第1項	(第5号)	1 人		
		ä†							4 人		
		上記①~(	5のうち、実務	家教員(分野にお	けるおおむね5年以	上の実務の紹	験を有し、かつ、高原	度の実務の	3 人		
		能力を有る	する者を想定)	U)蚁							
										_	

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編 成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- 「就職後にこそ伸びシロのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運 営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
中野 勘次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中野・良太	学校法人爽青会 副理事長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 副校長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
山本 恵士	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
山﨑 千華	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	
中村 智昭	伊豆シャボテン動物公園 園長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
土屋 考司	伊豆・三津シーパラダイス 飼育長	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	3
片井 信之	NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク	令和5年4月1日~令和6年3月31日(1年)	1

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
  - (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
    - - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
    - ②学会や学術機関等の有識者
    - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

### (4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月27日 13:00~15:00 第2回 令和5年2月13日 13:00~15:00

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・コロナ禍における採用と新入社員の変化を確認すると、よりインターン実習(現場経験)の必要性を訴えていた。学生の成長面、採用側の学生理解の両面において、インターンの積極的な参加を継続し実施する。 ・動物園や水族館でのコロナ時の実際の苦労や対処の具体例は、時事問題の1つとして『動物園水族館学Ⅱ』のシラバスの1コマに組
- み込まれた。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

飼育員としてのさまざまな視点を養うため、講義・実習を含めて現役の飼育員やトレーナーを派遣して授業を行ってくれる企業を選出している。期末試験、実習日誌などをもとに、評価を頂く。

#### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

4月から7月にかけて、繁殖やドルフィン研修、展示方法において、自然と動物、人をつなぐ飼育人になることを目的として、現役の プロから実践的に学んでいる。専門性の高い授業であり、知識・技術を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価 を実施している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

Γ	科目名	科目概要	連携企業等
		馬の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意 図を理解できる。	パロミノポニークラブ
	鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法などを学び、現場での作業意 図を理解できる。	掛川花鳥園

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

## (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。) の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

#### (2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 動物行動調査の手法 連携企業等: 豊橋総合動植物公園

期間: 令和4年6月29日(水) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科

内容 動物の行動分析の基本について、観察手法・記録方法等に関しての説明

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害の学生への支援 連携企業等: 静岡大学 金子泰之先生

期間: 令和4年8月1日(月) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科

内容 様々な学生への支援方法を学び、より良い学生支援の実践に繋げる。

(3) 研修等の計画

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: (ヤギ) 動物行動調査/ウサギ繁殖研究結果 連携企業等: 豊橋総合動植物公園

期間: 令和5年3月3日(水) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務1名

上ウ レビのた私知恵した私ハゼ エリビ教はにっしゃ出い

内容 ヤギの行動観察と行動分析、ウサギ繁殖について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 新任教員研修 連携企業等: 静岡県職業教育振興会

期間: 令和5年8月8日(火) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科

専修学校の新任教員等が、専修学校教員として必要な基礎的知識を習得する機会を設けるもの。一般財団法人職業教育キャリア教育財団「新任教員研修のプログラム」に準拠したものになっているため、所定の単位を取得すると、同

財団から「教員認定証」を受けることができる。また、中堅教員の「振り返り」等としての受講も可能。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、 評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
  - (1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2)学校運営	2 学校運営
(3)教育活動	3 教育活動
(4)学修成果	4 学修成果
(5)学生支援	5 学生支援
(6)教育環境	6 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8)財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10)社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- 卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
- → 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置 就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

#### (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

	文兵 57 日 存		
名 前	所属	任期	種別
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体
望月智	株式会社ジェットスタジオ 取締役	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和5年4月1日~令和7年3月31日	企業等
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事	令和5年4月1日~令和7年3月31日	業界・団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( )))

URL: https://www.rad.ac.jp/souseikai/img/report_rap2022.pdf

公表時期: 令和5年5月12日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報 を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集 し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒 業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3)教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5)様々な教育活動・教育環境	授業ブログ (公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9)学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10)国際連携の状況	_
(11) その他	_

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ (広報誌等の刊行物)・ (その他)説明会での説明))

URL: https://www.rap.ac.jp/about/information/

公表時期: 随時

## 授業科目等の概要

	(専門課程(文化・教養関係) 動物海洋飼育・アクアリウム科(水コース))															
		分類				配	授		挡	業実ス		場	所	教	員	企
	~	122	_			当年		単		j.	実験			_	- 14	業等
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	次	業	位	講	演	実	校	校	専	兼	٤
	修	必修	選択			学期	時 数	数	義	圖	習・実技	内	外	任	任	の連携
1	0			人と動物の関 係学 I	人と動物の関係に関して、現代社会における 動物関連諸問題への関心を高められる。	1 通	15		0		12		0		0	
2	0			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動 物飼養管理士2級の資格取得ができる。	1 . 通	54		0			0			0	
3	0			犬猫管理学	大・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など 全般の基礎知識を学び、正しい説明ができ る。	1 · 通	43		0			0		0		
4	0			鳥類学	鳥の解剖生理や飼育管理方法をなど学び、現場での作業意図を理解できる。	1 前	22		0			0			0	0
5	0			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1 · 前	33		0			0		0		
6	0			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1 · 前	22		0			0		0		
7	0			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(動物園・水族館等)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。		30				0		0	0		
8	0			動物飼育実習	学校飼育動物(イス・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレッ ト・ウサギ・インコなど)を通して飼育管理の基礎 ができる。	1	40				0	0		0		
9	0			アニマルト レーニング実 習 I	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し 方の基礎を押さえた馴致ができる。	1 · 通	54				0	0		0		
10	0			動物看護実習	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学 び、基本的検査手順を進める事ができる。	1 · 前	22				0	0		0		
11	0			飼育実習 陸 I	学校飼育動物(チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・ハリネ ズミ・カメ・ヘビ・トカゲなど)を通して基本的な 飼育管理ができる。	1 · 通	122				0	0		0		
12	0			飼育実習 水 I	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基 本的な飼育管理ができる。	1 · 通	121				0	0		0		
13	0			学外演習 I	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、 業界と飼育員像を理解できる。	1 · 後	112				0		0	0		
14		0		【選択】畜産 学実習	産業動物業界を理解し、就職先の1つとして 検討できる。生産物への正しい分類ができ る。	1 後	48				0	0			0	
15		0		【選択】ダイ ビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオープンウォータータ イー n'-の資格取得を出来るようになる。	(1 後)	(48)				0		0		0	
16	0			コンピュータ 実習	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1 · 前	22				0	0		0		
17	0			プレゼンテーショント レーニング I	ビジネスマナーとブレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	1 · 通	54		0			0			0	
18	0			挨拶I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	通	27				0	0		0		
19	0			掃除I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	通	27				0	0		0		
20	0			就職実務I	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履 歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活 動を開始できる。	後	16		0			0		0		
21	0			一般常識 I	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物 業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	後	16		0			0		0		
22	0			LHR I	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	· 前	11		0			0		0		
23	0			ルネサンス・ メソド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」」を図る。	通	20		0			0		0		
24	0			人と動物の関 係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2 通	6		0				0		0	
25	0			動物看護学Ⅱ	飼育や現場において看護に関する知識を利用 することが出来る。	通	42		0			0		0		
26	0			動物園水族館 学 II	歴史等を通して、動物圏・水族館の存在価値 や向き合う課題などを理解し持論を展開でき る。	通	42		0			0		0		
27	0			パピーケア概 論	しつけや健康管理、ワクチン接種など子犬期 の飼育管理について正しく説明できる。	2 · 後	11		0			0		0		

			合計	Т	左業要件及び履修方法 	s ₹	料目		1994		祖			11年間)
53	0		<b>△</b> *	実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	後	120		1994	0	à	<ul><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li></ul>	( )	位時間)
52	0			LHRII	スケジュール管理・就職活動管理および書類 提出納期管理を通して、自己管理の習慣化か できる。	2 · 前	10	0		0		0		
51	0			一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における、一般教養(筆記)試験での 突破を目指す。	2 · 前	10	0		0		0		
50	0			就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報 収集、個別調査や具体的準備な面接対策など を実施する。	2 前	10	0		0		0		
49	0			掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で 実践することにより、社会で必要とされる能 力を身に付ける。	2 .	21		0	0		0		
48	0			挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践する ことにより、社会で必要とされる能力を身に 付ける。	2	21		0	0		0		
47	0				プレゼンテーションの経験を重ね、インター ンなど学外でも自信ある発表ができる。	2.通	42	0		0			0	
46	0			スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく 実技・会話を行うことができる。	-	10	0		0			0	
45	0			海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、 動物飼育・ベットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2	30		0		0	0		
44	0			インターン シップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき 姿を明確にする。	2	200		0		0	0		0
43		0		【選択】海洋哺乳類実習	うになる。  水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	後 2 前	(20)		0	0			0	
42		0		【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、飼育動物のふれ あいを動物に安全にかつ楽しく実施できるよ	後 2 後	22		0	0			0	
41	0			フィールドワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境において活用できる。	Ι.	33		0		0	0		
40	0			環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学び、活用できる。	Ι.	22		0	0			0	
39	0			野生動物学実習	要生動物と人との関わり方など実践を通して 学び、現場での作業の意図を理解できる。	1 -	20	0		0			0	
38	0			学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業 を体験し、1年次の課題を克服できる。	1 -	70		0		0	0		
37	0			飼育実習 水	る要点を理解し、1大を考える事ができる。 各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合 的な管理を実践できる。	Ι.	79		0	0		0		
36	0			習Ⅱ	などに対して実施できる。 各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育す る要点を理解し、工夫を考える事ができる。	1 -	79		0	0		0		
35	0			実習 アニマルト レーニング実	入れやシャンプーに取り組む事ができる。 管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物	後 2	42		0	0		0		
33	0			II グルーミング	作業を想定した、動きができる。 犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手	後	16		0	0		0	0	
32	0			п	管理の飼い主への伝え方を実践できる。 1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助	前	30		0	0		0		
31		0		は選択」水族 館展示学 動物飼育実習	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。 1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と	通 2	(22)	0		0		_	0	
30		0		【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	前	20	0		0			0	0
29	0			ペットショッ プ実務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法 について正しく理解し活用できる。	後	22	0		0		0		
28	0			動物福祉学	動物業界で働く上で重要な法律や愛護について学び、倫理観を持ってプロとして業務にあたる事ができる。	後	11	0		0		0		

卒業要件及び履修方法	授業期	間等
卒業要件: 卒業制作合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修/選択必修科目を対面またはオンラインにて受講	1 学期の授業期間	1期:4/1-8/31 2期:9/1-3/31

^{【 (}留意事項) 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

² 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。